

らびつとにゆうず VOL.290 2021/8/23

【頼り合える社会づくり通信】 no.26 (2021/8/23)

※新型コロナウイルス感染拡大に対するアリスセンターの対応方針

<http://alice-center.jp/wp/?p=785&preview=true>

※新型コロナウイルス緊急事態市民団体アンケート報告書

<http://alice-center.jp/wp/?p=811>

※新型コロナウイルス感染症の影響によるNPOの現状と課題の報告並びに 要支援者及びNPOへの支援に関する提案（県内全自治体に送付済み）

<http://alice-center.jp/wp/?p=827>

※新型コロナウイルスに係る神奈川県内自治体のNPO・市民活動団体への支援施策・事業（最終集計）（県内の自治体に送付済み）

<http://alice-center.jp/wp/?p=857>

【新情報】新型コロナウイルス緊急事態市民団体第2次アンケート報告と県内自治体への提案

<http://alice-center.jp/wp/?p=926>

目 次

◎アリスセンター2021年度通常総会の開催 2021年9月26日（日）午後3時開始

◎横浜市長選 8月22日投開票 山中竹春（元横浜市立大教授）氏が50万票余で当選。投票率は49.05%。

【1 分断線の現状を明らかにする情報（活動）】

1) 貧困・所得格差間

◆【新情報】学習会「生活困窮者支援に必要な医療制度を学ぶ」（9月8日）

（神奈川県・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク）

◆【新情報】神奈川県在所管「私立専門学校修学支援負担金」の利用が想定の半分

（参考 朝日新聞7月2日）

◆【新情報】生活保護申請数2021年5月前年同月比2.3%増加（参考）朝日新聞8月5日

◆【更新】（公益社団）フードバンクかながわの活動状況

フードバンクかながわの活動紹介動画がYouTubeにアップ

<https://youtu.be/LxtiA9T3jhk>

2) 受給者間（教育・福祉・介護・保育等）

3) 世代間（若者と高齢者）

4) 地域間（都市と地方）

5) 雇用者間（正規・非正規）

- 6) 男女 (性差・ジェンダー等)
- ◆【新情報】 2020年度男性の育児休業取得率が12・65% (厚生労働省7/30)
 - 【報告】 SJF アドボカシーカフェ第71回
『ジェンダーと民族が複合する差別—在日コリアン女性自身による実態調査—
- 7) 入居者間 (公営住宅)
- 8) 国籍 (国民・移民・外国籍) 含むヘイトスピーチ規制
- ◆【新情報】 相模原市長定例記者会見 (7/21) 「市としてヘイト街宣について発言を確認する」
 - ◆【新情報】 法務省調査 2016～2020年に生まれた305人中69人無国籍のまま (参考 朝日新聞7月21日)
- 9) 政治意識 10) 市民意識
- ◆【新情報】 横浜市のIR (統合型リゾート) 誘致を巡る状況について
- 11) その他社会全般
- ◆ (認定 NPO 法人) OurPlanet-TV
【新情報】 News 『『五輪はいらない!』～五輪の中止求め反対デモ』
News 『『政府は制裁を』文化人ら訴え～ミャンマーのクーデター4か月』
 - ◆【新情報】 サンゴ移植許可沖縄県撤回7月30日 (参考 朝日新聞 7月31日)
 - ◆【新情報】 沖縄県のサンゴ移植許可撤回を農水省が停止許可 (参考 朝日新聞8月6日)
 - ◆【新情報】 令和3年度普通税不交付団体22団体減少 (参考 総務省 8月3日)
 - ◆【新情報】 コロナ禍において、神奈川県内障害者の就職件数が11年ぶりに減少 (参考 神奈川労働局発表 6月28日)

【2 地域での関係やつながりを創造 (再生) する活動】

1) 地域全般・制度全般

- ◆ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)
『一共に生きる—ソーシャル・ジャスティス 連携フォーラム2021』(8/20)
- ◆【新情報・更新】 新型コロナウイルスの影響下での市民活動関係情報
 - 1 メッセージ・言説・近況報告
 - 2 市民活動団体のための新型コロナウイルス対応お役立ちサイト
 - 3 新型コロナ対応 政府支援策
 - 4 新型コロナ対応の民間助成金

2) まちづくり

- 【新情報】 鎌倉市長選市民団体 候補者を公募 (参考 タウンニュース鎌倉版8/13)
- 【新情報】 新しい空き家の利活用 地域とつながる“母子シェアハウス”
(参考 藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェブ」2021・7)

【新情報】神奈川県社会福祉センターオープン 神奈川県社会福祉協議会 7月未移転

3)居場所づくりの活動(子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク)

【更新】神奈川県内寄付食品回収(フードドライブ)と地域の食支援団体(フードバンク/パントリー)(フードバンクかながわ)

4)高齢者福祉・介護の活動

5)障がい者福祉

【新情報】ナイスハート基金

2020年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究

6)多世代参加型子育て活動

7)外国籍市民との共生活動

【新情報】神奈川県・かながわ国際交流財団

かながわ地域日本語教育フォーラム(9/12)

【新情報】「人身売買との闘い」指宿弁護士を米表彰(朝日新聞 7月3日)

8)アート活動

9)子ども・若者・女性の支援

【新情報】東京ボランティア・市民活動センター

「特集 若者に寄り添う市民活動～若年の妊娠」ネットワーク 372号(2021年6月号)

【新情報】神奈川県・神奈川子ども未来ファンド

ポータルサイト「こどもみらい応援ネット」開設

◆なくそう戸籍と婚外子差別・交流会

婚外子差別撤廃に向けた電話相談

10)様々なネットワークの活動

【新情報】東京ボランティア・市民活動センター

支援力アップ塾スタートアップ編(2021年9月15日、9月29日、10月23日)

11)市民基金・寄付の活動

【新情報】ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)助成公募 第10回(締切9月20日)

12)人権・平和の活動

【更新】非核市民宣言運動・ヨコスカ 月例デモの実施状況

【新情報】ビルマ(ミャンマー)へのNGO・NPO等の支援の動き

「ミャンマー国軍の資金源」を断つことの要請書の提出とアクション

(出典:特定非営利活動法人メコン・ウォッチ HP)

13)住宅支援の活動

14)環境・エネルギーの活動

【新情報】祝島沖の上関原発計画に対して一島民の会のオンライン署名ー

- ◆原子力市民委員会（CCNE）連続オンライン企画「原発ゼロ社会への道」
 - ◆公益財団法人日本自然保護協会 アプリを使って、生きもの調査&ごみ拾いをする「砂浜ムーブメント 2021」開催
 - ◆【更新】横須賀石炭火力発電所訴訟第7回期日結果（2021/5/17）
横須賀石炭火力発電所訴訟第8回期日（9/3）及びオンライン報告会(9/7)
- 15) マイノリティ支援の活動（LGBT等）

【3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方】

【4.見落としがちで大切な取組み・催し】

1 【募集】

（シンポジウム・セミナー・講座等）

【新情報】NPO 支援財団研究会 2021 WEB シンポジウム の開催（9/10）

「秋の助成金応募シーズン到来。プログラムの狙いを理解して提案力を高めよう！」

【新情報】横浜市市民協働推進センター

よこはま NPO 会計セミナー（9月から11月 計4回）

ポストコロナの参加の場の開き方（8/28 9/9）

【新情報】関内イノベーションイニシアティブ（株）

ソーシャルベンチャー・スタートアップ講座（9月から11月 全8日間）

【新情報】NPO サポートセンター

基礎知識と効率化のノウハウを学び、改善につながる「NPO 会計業務入門」

（9月14日（火）、10月5日（火）14:00-16:00 の全2回）

新時代をサバイブする寄付戦略「デジタルファンドレイジング基礎ゼミ」

（9月28日（火）、10月12日（火）、10月26日（火）14:00-17:00 の全3回）

【新情報】日本ファンドレイジング協会・災害対応チャプター

「あの災害、あのファンドレイジング～西日本豪雨」（第1回）（8/27）

【新情報】パナソニック株式会社・日本 NPO センター

「NPO/NGO 組織基盤強化サポート研修」（9月から1月）

◆あーすぶらざ 特別展「生と死の間で ホロコーストとユダヤ人救済の物語」(2021年06月26日(土)～2021年08月29日(日))

【新情報】あーすぶらざ映画上映会 この世界の片隅に(8/29.10:00～12:10.14:00～16:10)

◆さわやか福祉財団 いきがい・助け合いサミット in 神奈川

共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～（9月1日～2日）

◆サントリーホールディングス株式会社

サントリー水育(みずいく)「森と水の学校」リモート校募集（7/17～）

◆NPO 法人 東海道ウォークガイドの会

日本橋から沼津宿まで旧東海道を歩きませんか？（9月25日から）

（署名・賛同・動画/写真）

【新情報】市民が撮った五輪地図プロジェクト

「あなたの目撃した五輪」「五輪へのメッセージ」写真・動画を大募集！

【新情報】（再掲）上関原発を建てさせない祝島島民の会のオンライン署名

（コンクール・顕彰）

【新情報】（再掲）住友生命保険相互会社

「未来を強くする子育てプロジェクト」子育て支援活動の表彰（締切 9/10）

【新情報】（再掲）公益財団法人パナソニック教育財団

「2021年度 子どもたちの“こころを育む活動”表彰」9/10 締切

【新情報】（再掲）株式会社日本経済新聞社

「第5回 日経ソーシャルビジネスコンテスト」（締切 9/5）

【新情報】フィッシュファミリー財団（米国ボストン）

「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」（締切 8/31）

◆第31回キララ賞(かながわ若者生き生き大賞)(締切 8/31)

◆（公財）日本フィランソロピー協会

第19回企業フィランソロピー大賞募集（締切 9/1）

◆プルデンシャル生命保険株式会社他3社

「第25回 ボランティア・スピリット・アワード」（締切 8/31）

◆一般財団法人住宅生産振興財団他

第17回 住まいのまちなみコンクール（締切 8/31）

（ボランティア）

【新情報】かながわ女のスペース みずら

2021年度募集案内 電話相談員養成講座(9/11)(締め切り 8月31日)

◆フードバンクかながわ 時間の寄付(食品点検等のボランティア)募集

◆NPO 法人フードバンクひらつか ボランティア募集

◆（公財）かわさき市民しきん 2021年度川崎プロボノ部説明会（9/4）

（物品寄付・募金・寄贈）

◆ビルマ（ミャンマー）支援募金

（スタッフ）

【新情報】フィランソロピー協会 プロジェクト担当職員を募集中(締切 8/31)

【新情報】日本NPOセンター 職員募集のお知らせ（締切 8/31）

【新情報】インクルージョンネットかながわ 職員募集のお知らせ（締切 8/29）

2 【助成金】

（組織基盤強化・人材育成）

【新情報】公益財団法人 SOMPO 福祉財団 「認定NPO法人取得資金助成」(締切 10/8)
(コミュニティ)

【新情報】かながわボランティア活動推進基金 21 (9月から10月)

【新情報】(公財)日本財団「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」10/15 締切

◆神奈川県共同募金会 (再掲)

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン (締切 9/30)

【新情報】2021年「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」(締切 9/22)

【新情報】2022年度ヤマト福祉財団助成金募集 (締切 11/30)

◆公益財団法人 JKA (再掲)

「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」(受付期間(第1回)6/10~7/16、
(第2回) 8/10~8/31)

◆公益財団法人 さわやか福祉財団 (再掲)「地域助け合い基金」(随時受付)

(子ども・若者・女性)

【新情報】(公財)ベネッセ子ども基金

2022年度「重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成」(締切 9/24)

【新情報】東急株式会社「2022年度東急子ども応援プログラム」(締切 9/15)

【新情報】東京海上日動あんしん生命 給付型奨学金制度 (締切 10/29)

(環境)

【新情報】TOYOTIRE グループ

【新情報】TOYOTIRE グループ環境保護基金 (締切 9/30)

【新情報】(公財)国際花と緑の博覧会記念協会

令和4年度「花博自然環境助成」(締切 9/10)

◆公園・夢プラン大賞(締切 2021/4/16—9/30)

【掲載紙】

【寄贈冊子】

【頼り合える社会づくり通信】no.26 (2021/8/)

●ミャンマーで2月1日に国軍によるクーデターが発生してから6か月が過ぎても常軌を逸したミャンマー国軍の市民への暴力が続いています。

前号では、それに対して、今、日本から市民、NPO/NGOの立場で何かできないかと思い、情報を収集し発信しました。残念ながら現状は、オリンピックの開催とかコロナ禍の報道でミャンマー問題の関心が少なくなっていたので、「ミャンマーを巡る現状を知り、私たちは何ができるのか」をテーマに、8月7日午前に、オンラインでWE21 ジャパン、地球の木、アリスセンターの3者共催により緊急学習会を開催しました。緊急な呼びかけでしたが、45名の方が参加された。講師は、メコン・ウォッチの木口由香さん。同団体は、「調査研究」

「政策提言」等を行う専門的な NGO で、現在、他の NGO 等と一緒に、日本政府や関係団体に対して、国軍に対する資金援助を止めるように共同要請書等を発出、省庁等前の行動などのアクションを行っている。

学習会を通じて、メコン・ウォッチをはじめとする国際 NGO や人権団体が、官民連携の公的資金によるビジネスを念頭に、日本政府などに何回も国軍の利益になる経済協力を中止するように要請している実態と、その背景にある複雑なミャンマーの実情や ODA ビジネスの実態を知ることができた。今後、市民にできることは、ODA の一旦停止や問題事業中止を求める動きに賛同し、この問題に関心を持ち続け、情報を発信していくことが重要と改め思った。ODA の使い道について来る国政選挙の争点にならないだろうか。一人の国民として地元の政治家に質問してみてもはどうだろうか。

●神奈川県内の情報では、(1) 相模原市長定例記者会見 (7/21)「市としてヘイト街宣について発言を確認する」(2) 鎌倉市長選市民団体 候補者を公募 (参考：タウンニュース鎌倉版 8/13) (3) 中々進まない横須賀石炭火力発電所訴訟第 7 回公判結果、8 回公判(9/3) (4) 横浜市の IR を巡る横浜市長選、(5) コロナ禍において、神奈川県内障害者の就職件数が 11 年ぶりに減少などが印象に残っている。

●アリスセンターからのお知らせ

2021 年度通常総会の開催について

日 時 2021 年 9 月 26 日 (日) 午後 3 時開始

場 所 よこはまワールドポーターズ 6F NPO スクエア会議スペース AB

開催方法

○今回も、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあるので、少人数 (理事数名等) この開催とし書面評決を行います。

○ZOOM を利用してオンラインで参傍聴加を予定しています。多くの方に参加していただき、意見交換・交流を行いたいと思います。終わった後の交流会はできませんが？！

連 絡 9 月上旬に通常総会のご案内と議案書をお送りします。

【情報配信の考え方】

◎ 1. 分断線 (格差) の現状を明らかにする情報 (※ 1)、2. 地域での関係やつながりを創造 (再生) する情報 (※ 2)、3. 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方などの情報、4. 見落としがちな大切な取組み・催しを配信していきます。神奈川県内や全国規模で活動して団体や活動をリストアップして定期的に情報収集や取材を行い情報発信していきます。結果の情報についても、可能な範囲でフォローしていきたいと思いますので、団体の皆様におかれましては、活動情報と併せて結果について、アリスセンターあて (office@alice-center.jp)、是非お送りください。お待ちしております。

◎情報を積み重ねて、地域や社会の課題が見える化していきたいと思い配信しています。必要に応じて更新・編集は行いますが、既に配信した情報も残していきます。そのため、メル

マガが長文になるかも知れませんが、適宜選択してご覧ください。よろしくご理解のほどお願いいたします。

◎また、理解に必要な範囲で、報道記事の引用を行っております。著作権を守るために、全文の引用を行わず、URLにとどめた記事もあります。これらのURLは著作権者が任意に変更・削除を行います。らびつとにゆうず掲載時には確認しておりますが、時間の経過とともに「not found」と表示されることも出てきます。ご了承ください。参考として示した新聞記事の中には、有料会員以外は記事全文を読むことができないものもあります。ご了承ください。

※1 分断線

1) 貧困・所得格差間 2) 受給者間（教育・福祉・介護・保育等） 3) 世代間（若者と高齢者） 4) 地域間（都会と地方） 5) 雇用者間（正規・非正規） 6) 男女（性差） 7) 入居者間（公営住宅） 8) 国籍（国民・移民・外国籍） 9) 政治意識（人権意識、政治的急進主義と穏健寛容派等） 10) 市民意識（他者への無関心と他者への関心、信頼と不信感等）、 11) その他社会全般

※2 地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

1) 地域全般・制度全般、2) まちづくり（弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー） 3) 居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク） 4) 高齢者福祉・介護の活動 5) 障がい者福祉（発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等） 6) 多世代参加型子育ての活動 7) 外国籍市民との共生の活動 8) アート活動（障害者・地域等との協働等） 9) 子ども・若者・女性の支援 10) 様々なネットワークの活動 11) 市民基金・寄付の活動 12) 人権・平和の活動 13) 住宅支援の活動 14) 環境・エネルギーの活動 15) マイノリティ支援の活動（LGBT等）

1) 貧困・所得格差間



主催 神奈川県・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク共催

【新情報】学習会「生活困窮者支援に必要な医療制度を学ぶ」（9月8日）

生活の困窮により必要な医療をあきらめる方、受診を我慢する方、医療費が払えない方などが増えています。

10月6日（水）のネットワーク会議（Zoom開催）「『医』の支援～必要な医療を受けられるために」に先立ち、困窮状態にある人たちや、困窮の恐れのある人たちを支えるための医療制度や、医療機関と様々なサービス・機関の連携について学びます。

具体的には、高額療養費制度・高額療養費貸付・限度額適用認定証、自立支援医療制度、無料低額診療制度、生活保護の医療扶助等の各制度がどのようなものか、医療機関におけるメディカルソーシャルワーカー（MSW）の役割と連携方法、医療と介護・医療と障害・医療と住まい等の関係を学びます。

◆日時：2021年9月8日（水）18:00～20:00

◆開催方法：Zoomによる開催

◆講師：公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 松尾ゆかり氏

◆対象：生活困窮や課題を抱える人たちへの支援を実施しているNPO、自治体、関係機関など。30名程度。

◆参加費：無料

申し込み・問い合わせ

ご参加いただける方は、以下の申し込み事項を記載して、メールでお申し込みください。記載いただいたメールアドレス宛に、Zoomの招待URLをお送りいたします。

◆申込期限

・2021年8月30日（月）

◆申込先

・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク

E-mail：kanaconnet@gmail.com

◆申し込み記載事項

・「医療制度学習会参加申込」と明記してください

・団体名（機関名・自治体及び部署名）：

・連絡担当者名：

・連絡先住所：〒

・電話：

・FAX：

・E-Mail：

・参加者氏名／部署・役職等

※当日、参加者に、参加者名簿（名前と所属を記載）を配布します。

◆問合せ先

・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク全体事務局（一般社団法人インクルージョンネットワークかながわ）

TEL：0467-47-9291 FAX：0467-47-9290

e-mail：kanaconnet@gmail.com

※予告：神奈川県・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク共催

2021年度第2回ネットワーク会議

「『医』の支援～必要な医療を受けられるために」

◆日時：2021年10月6日（水）15:00～17:00 Zoom開催

◆報告：沢田貴志氏（神奈川県勤労者医療生活組合港町診療所所長 総合内科専門医）等

◆-----
【新情報】 神奈川県在所管「私立専門学校修学支援負担金」の利用が想定の半分

（参考）朝日新聞7月2日

昨年度に始まった高等教育の無償化（修学支援制度）に絡み県が所管する「私立専門学校修学支援負担金」の利用者が当初予算で想定した半分程度にとどまっていることが分かった。神奈川県は、「使ってもらわないと意味がない」として制度の周知を強化していく方針だ。この制度は、住民税非課税世帯などの高卒者の専門学校の授業料や入学金を減免する制度。

◆-----
【新情報】 生活保護申請数 2021年5月前年同月比2.3%増加

（参考）朝日新聞8月5日

厚生労働省が8月4日、発表した統計によると、2021年5月の生活保護の申請件数は、1万8400件と、前年の同じ月に比べて2・3%増えた。2021年3月以来、2カ月ぶりの増加となった。また、5月に新たに生活保護の利用を始めた世帯は、1万5607世帯で、前年同月比で7・7%減った。

申請件数は前年同月比で昨年9月から今年3月まで7カ月増加が続いた後、4月に減少していた。厚労省保護課は「依然として雇用情勢に厳しさが残っており、今後の動向を注視していきたい。前年の夏は申請件数が減ったため、今年は反動で前年比プラスとなる可能性が考えられる」としている。

◆-----
【更新】（公益社団）フードバンクかながわの活動状況

フードバンクかながわの活動紹介動画がユーチューブにアップ

（フードバンクかながわHP・フードバンクかながわ 通信第33号から）

■フードバンクかながわの活動紹介動画がユーチューブにアップされました

「『フードバンクかながわ』の活動と非営利協同組織の連携」

企画：かながわCo-ネット（神奈川県協同組合連絡会） 製作：W.Coほっとリンク

予告編：<https://youtu.be/Ws1I8c-Hhoo>

本編：<https://youtu.be/LxtiA9T3jkh>

2021年7月の状況 7/1～7/31 寄贈食品 17.5トン 提供食品 18.9月分トン

(内訳)

【寄贈食品】17.5トン 企業・生協・JA等 9.6トン、フードライブ 4.31トン
寄付で購入3.6トン

【提供食品】18.9トン 132団体 204回

行政・社協 6.1トン 34団体 59回

地域のフードバンク 5.3トン 20団体 38回

こども食堂・居場所 5.7トン 55団体 72回

自立支援施設等 0.3トン 4団体 5回

福祉・医療。外国籍関係 1.5トン 19団体 30回

■問合せ先 公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東2丁目4-45

TEL:045-349-5803/ FAX:045-349-5804 HP <https://fb-kanagawa.com/>

e-mail: info@fb-kanagawa.com

6) 男女(性差)



【新情報】

2020年度男性の育児休業取得率が12・65%に

(厚生労働省7/30) <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r02/03.pdf>

(参考 朝日新聞 7/30)

育児休業を取った男性の割合が2020年度に12・65%になり、初めて1割を超えたと厚生労働省が7月30日発表した。厚生労働省の「雇用均等基本調査」のなかで配偶者が出産し、20年10月までに育休に入った男性の割合を調べた。19年度より5・17ポイント上昇した。めざしていた20年までに13%にする目標には届かなかった。女性の取得率は81・6%で前年度より1・4ポイント低かった。



●【報告】SJF アドボカシーカフェ第71回

『ジェンダーと民族が複合する差別—在日コリアン女性自身による実態調査—』:

2021年7月27日、李月順さん(アプロ・未来を創造する在日コリアン女性ネットワーク<アプロ女性ネット>代表)、元百合子さん(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター客員研究員)、梁優子さん(大阪市立大学人権問題研究センター特別研究員)をゲストに迎え、SJFはアドボカシーカフェをオンラインで開催された。

国連の女性差別撤廃条約委員会が日本政府に勧告し続けてきたマイノリティ女性の生活

と人権状況の実態調査を当事者自身が行ってきたことがテーマです。在日コリアン女性はマジョリティ女性とも、在日コリアンの男性とも異なるより困難な状況に置かれており、その原因である複合差別を実証したのがこの調査です。同時に、この調査に関わった在日コリアン女性たちにとって、奪われていた力を回復して自らをエンパワーする機会にもなりました。

【詳細】 <https://socialjustice.jp/p/report20210727/>

8) 国籍（国民・移民・外国籍） 含むヘイトスピーチ規制



【新情報】

相模原市長定例記者会見（7月18日）

「市としてヘイト街宣について発言を確認する」

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/mayor/1009760/1023046/1023807.html>

（参考 神奈川新聞 7月22日）

相模原市長は7月21日の定例会見で、差別扇動団体「日の丸街宣倶楽部」が18日に市内で行ったヘイト街宣について、「市として、どのような発言があったかを確認する」と述べた。ヘイト街宣は相模原市南区小田急線相模大野駅前で行われた。



【新情報】

法務省調査 2016～2020年に生まれた305人中69人 無国籍のまま

（参考 朝日新聞 7月21日）

上川法相定期記者会見（7/20）

https://www.moj.go.jp/hisho/kouhou/hisho08_00219.html

上川陽子法相は20日の会見で調査結果を公表した。2016～20年に日本で生まれ、0歳の時点で法務省が無国籍と認めた子どもから抽出した305人のうち、2割以上の69人が21年4月現在でも国籍を得られていないことが法務省の初めての調査で明らかになった。対策として「窓口で、国籍があるかを積極的に把握し、早い時期に情報提供していく」と話した。

調査では子どもが無国籍になった理由を分析した。最も多かったのは、パスポートや出生証明書など国籍を立証する資料の不足。全体の約76%にあたる232人が該当した。このうち44人は21年4月現在でも無国籍だった。

次いで多かったのが、在日公館だけでは手続きが完了しない国のケースだ。その国で手続きする必要がある。63人が当てはまり、うち17人は21年4月現在でも無国籍。母のみ

が無国籍で、それを引き継いだ子どもも2人いた。

調査では、これらを含めて理由を五つに分類した。今後対象が広がれば、「まだほかのパターンもありうる」（同省）としており、無国籍の子どもにかかわる全容は把握できていない。

9) 政治意識 10) 市民意識



【新情報】 横浜市 IR (統合型リゾート) 誘致を巡る状況について (新聞報道等から)

国 (政府) はカジノに加えて大きなホテルや国際会議場も備えた IR (統合型リゾート) を全国に最大3か所作ろうとしている。

国土交通省の調査に「予定または検討」と回答した自治体は、北海道、千葉市、東京都、横浜市、愛知 (名古屋 常滑)、大阪府・市、和歌山県、長崎県計8地域だったが、北海道、千葉市が IR 誘致見送りを表明し、現在6自治体となっています。

横浜市では、誘致をめぐる促進派と反対派の2つの立場の活動や関連する活動が展開されているので、らびつとにゆうずでは、その動きを中心に情報を提供します。

●情報量が多くなったので、以前の情報は、アリスセンターHP のらびつとにゆうず NO.279号から NO.288号をご覧ください。 <http://alice-center.jp/wp/?p=836>

◆【新情報】5月17日 ギャラクシー・エンターテインメント・グループは参入見送りマカオに拠点を持つカジノ大手ギャラクシー・エンターテインメント・グループ (香港) は、17日、応募を見送ると発表した。コロナ禍がもたらした経営環境の悪化を要因にあげている。すでに米国のラスベガス・サンズ、ウイン・リゾーツはコロナの感染拡大後、撤退を表明している。(参考 神奈川新聞5月18日)

◆【新情報】5月22日 未来構想会議発足

横浜市長選の投開票を3カ月後に控えた22日、市がカジノを含む統合型リゾート (IR) を誘致することに反対する元国会議員や大学教授らが、市民団体「横浜未来構想会議」を立ち上げた。市が IR の予定地とする山下ふ頭 (中区) でカジノ無しの再開発を提唱する、横浜港ハーバーリゾート協会の藤木幸夫会長が議長に就いた。

市内で同日、会議発足の記念講演会が開かれ、藤木氏と、アドバイザーを務める寺島実郎・日本総合研究所会長が登壇した。約150人が参加し、市長選でカジノに反対する候補の擁立をめざす立憲民主党の国会議員や県議、市議の姿も目立った。

会議では今後、広く賛同人を募り、「カジノに頼らない横浜」や「コロナ後を見据えた横浜」の将来像について意見を集約し、市民に訴える提案をしていくという。当面の活動として、なぜ IR 誘致が提案されたかの検証などを行い、市長選告示前の7月中下旬には「市民の集い」を開く。(参考 朝日新聞 5月23日)

◆【新情報】5月25日 かながわ市民オンブズマン再び住民監査請求

5月25日、横浜市内の4団体とともに、「カジノ事業者に対する市有地貸付差止め」を求める住民監査請求を行った。同オンブズマンは、昨年3月にも同様の住民監査請求をしたが、市有地の事業者への提供が「具体性を備えているとは認められない」などとして却下されていた。(参考 朝日新聞 5月26日)

(監査請求書) <http://kana-ombuds.world.coocan.jp/casino20210525.pdf>

◆5月29日 カジノのないまちづくりの提案

国内外で活躍する横浜市在住の建築家山本理顕さんが市内の講演会で、カジノのないまちづくりを訴えた。2019年、市が山下ふ頭を予定地とするIRのコンセプトを募集した際、大手住宅メーカーと共同で「カジノのなし」の構想を応募した。職住一体の町家を核に、観光客も引き寄せる次世代型都市の提案だった。

(参考) カジノのなしの街づくりの提案 <https://www.decn.co.jp/?p=115195>

朝日新聞 5月30日

◆6月11日 IR事業計画案2グループ提出

横浜市は、2グループがIRの具体的な事業計画案を提出したことを明らかにした。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/RFP.html>

市は2グループの提案を非公開の選定委員会で審査し、今夏ごろに事業予定者を決定する。

提案したのは、グループ1 代表企業ゲンティン・シンガポール(シンガポール) 応募グループ構成員 株式会社大林組、鹿島建設株式会社、セガサミーホールディングス株式会社、総合警備保障株式会社、株式会社竹中工務店。

グループ2の企業名は公表されていないが、関係者によるとメルコリゾート&エンターテイメント(香港)を代表企業とする3社グループとみられる。

(参考 朝日新聞6月12日)

◆【新情報】7月9日 かながわオンブズマンが市を提訴

かながわオンブズマンは9日、横浜市を相手どり、IR予定地である山下ふ頭の民間事業者への提供差し止めを求める訴えを横浜地裁に提訴した。同団体は、昨年にも同様の訴訟を起こし、今年の2月に横浜地裁が請求を却下した。

◆【新情報】8月8日 横浜市長選8氏が立候補 (結果についてはこの記事の下の記事参照)

横浜市長選が混戦模様となっている。カジノを含む統合型リゾート(IR)誘致の是非を軸に与野党が対決すると見られていたが、現職閣僚が「誘致とりやめ」を掲げて立候補を表明し、構図が一変。誘致反対派が次々に名乗りをあげ、立候補者は8人にのぼる。果たして、IRの行方はどうなるか。

横浜市長選の立候補表明者

太田 正孝 75 横浜市議

小此木八郎 56 元国家公安委員長

田中 康夫 65 元長野県知事

坪倉 良和 70 水産仲卸会社社長
林 文子 75 横浜市長
福田 峰之 57 元衆院議員
松沢 成文 63 元神奈川県知事
山中 竹春 48 元横浜市立大教授
(50 音順、敬称略、数字は年齢)

◆【新情報】8月22日 横浜市長選 投開票

注目の横浜市長選は意外の票差。テレビ速報は「ゼロ打ち」（投票締切と同時に当確が打たれる）で報じられた。

選管の発表によれば、最終投票率は49.05%（前回投票率は37.21%）。

区ごとの投票率は、最高は栄区の52.22%、最低は鶴見区の44.18%。

横浜市長選の立候補者・当選者 確定得票 山中竹春

山中 竹春 506,392 当選

小此木八郎 325,947

林 文子 196,926

田中 康夫 194,713

松沢 成文 162,206

福田 峰之 62,455

太田 正孝 39,802

坪倉 良和 19,113

11) その他社会全般



(認定 NPO 法人) OurPlanet-TV

News 『『五輪はいらない!』～五輪の中止求め反対デモ』

東京五輪の開会式の前に行われた2時間前、五輪の中止を求める市民ら約700人がデモ行進を行った

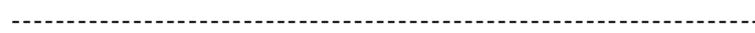
<https://www.youtube.com/watch?v=oiUjCQ8X0sA>



(認定 NPO 法人) OurPlanet-TV

【新情報】News 『『政府は制裁を』文化人ら訴え～ミャンマーのクーデター4か月』

■視聴 URL <http://www.ourplanet-tv.org/?q=node/2572>



今年の2月1日に、ミャンマーで軍事クーデターが発生してから4カ月が経った6月1日、国会周辺では日本政府の対応についての抗議が相次いだ。

(発行・問合せ先)

OurPlanet-TV <http://www.ourplanet-tv.org>

東京都千代田区神田猿樂町 2-2-3NS ビル 202

Email : info@ourplanet-tv.org

Tel : 03-3296-2720 FAX : 03-3296-2730

◆-----
【新情報】 サンゴ移植許可沖縄県撤回 7月30日

(参考 朝日新聞 7月31日)

防衛省が移植申請した約4万群体のサンゴについて、沖縄県は7月28日、台風や水温の高い時期を避けるといった条件を付けて移植を許可。沖縄防衛局が29日から作業を始めたが、県は条件に従っていないとして、30日付で許可を撤回した。

◆-----
【新情報】 沖縄県のサンゴ移植許可撤回を農水省が停止許可

(参考 朝日新聞 8月6日)

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設予定地にある名護市辺野古沖のサンゴの移植をめぐり、野上浩太郎農林水産相は5日付で、沖縄県による移植許可撤回の効力を止める執行停止を決めた。防衛省沖縄防衛局が2日付で不服として申し立てていた

◆-----
【新情報】 令和3年度普通税不交付団体22団体減少

(参考 朝日新聞 8月6日)

総務省は8月3日、国から自治体に出す令和3年度の普通交付税について、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、自主財源が豊かな「不交付団体」が76団体から54団体に減少した。神奈川県内では、令和3年度は、鎌倉市、藤沢市、厚木市、寒川町、箱根町が不交付団体で、川崎市 海老名市、愛川町が新たに交付団体になった。

◆-----
【新情報】 コロナ禍において、障害者の就職件数が11年ぶりに減少

～令和2年度 神奈川県内のハローワークを通じた障害者の職業紹介状況～

(参考 神奈川県労働局発表 6月28日)

<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/content/contents/000905351.pdf>

神奈川県労働局は令和2年度障害者職業紹介状況を取りまとめ公表した。

○ 神奈川県内のハローワークにおける障害者の新規求職申込件数は12,256件で、対前年度比13.0%減となり、平成22年度以来10年ぶりに減少した。また、就職件数は3,579件で対前年度比24.3%減となり、平成21年度以来11年ぶりに減少した。

○ 就職率については、29.2%となり、対前年度比4.3%減となった。

○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者の就職活動が抑制されたことや、障害者専用

求人を含む求人の減少が、就職件数の減少につながったと考えられる。

2 地域での関係やつながりを創造(再生)する活動

1)地域全般・制度全般



ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

『一共に生きるーソーシャル・ジャスティス 連携フォーラム 2021』

★2021年8月20日(金)13:00～16:00

公正な社会をめざす市民活動は、今の世界をどのように見つめ、社会的課題を見出しているのでしょうか。声なき声、封印せざるを得なかった想いを聴くことから始まる市民活動にソーシャル・ジャスティス基金(SJF)は助成してきました。その市民活動は公正な社会とは何かを具現してきました。そういった課題の解決にむけて試行錯誤をしている市民の方々との対話から、これからの社会づくりへのヒントを見出し、従来の発想を超えた連携を生むきっかけとなればと2021年8月20日(金)『一共に生きるーソーシャル・ジャスティス 連携フォーラム 2021』が開催された。当日の記録については後日、報告される見込み。

【問合せ先】 <http://socialjustice.jp/p/20210820/>



【新情報・更新】新型コロナウイルスの影響下での市民活動関係情報

1 メッセージ・言説・近況報告

●認定NPO法人 フリースペースたまりば

(たまりば通信 vol.2021年度夏号 (2021年7月発刊)抜粋)

「コミュニティスペースえんくる、進化中！」

(南武線)久地駅からほど近く、かつてオーガニック・カフェたまりばーのあった場所が「コミュニティスペースえんくる」として活動を始めているのはご存知でしょうか？

まだ食べられるのに捨てられてしまう食料を必要な人が受け取る、地球にも人にも優しい地域の食料庫”たまりばフードパントリー”が今年1月オープン。さらに5月には多世代型こども食堂「えんくる食堂」もスタートしました。地域を”食”でルナゲル”まちのひろば”としてコミュニティスペースえんくるが少しずつ育っています…続きを読む

※えんくる最新情報はえんくる公式LINE」

●大和市民活動センター 拠点やまと

(「あの手 この手」第168号 2021年7月10日 抜粋)

「去る6月22日(火)の午前10時から、市民活動センターへの参集及びZOOM参加のハイブリット型で、共育セミナー(第1部:子ども食堂運営団体の活動報告、第2部:グループセッション)を開催いたしました。第1部では、「スマイルダイニング HANA」の市原信行さん、「わにわに食堂」の宮元純子さん、「たまめじ食堂」の滝本 圭さんから、それぞれの団体の活動報告をしていただいたのち、参加者からの質問に答えていただきました。第2部は、3団体を含めた参加者13名が2グループに分かれて、ワールドカフェ方式によるグループセッション(お題は、「子ども食堂は、誰の居場所だ?」で、意見交換を行いました。)」詳しくは、https://kyoudounokyoten.com/anote_pdf/anotekonote_168.pdf

●ヨコハマアートサイト事務局(認定NPO法人STスポット横浜他)

(季刊 ヨコハマアートサイト vol.027 寄稿 原 美紀(認定NPO法人びーのびーの)「コロナ禍でも子どもを育てる環境を守るために」抜粋)

「コロナ禍による影響で産み控えが起こり、少子化が加速しています。この状況を改善するためには、子どもを産み育てることができる環境の構築を応援していかなければいけません。私が働いている港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ」では、当事者だけでは立ち行かない状況に対する支援のため、1回目の緊急事態宣言中も電話やメール、オンライン相談や急を要する一時預かりを継続しました。(中略)また、行政や産院、医院らが両親教室の開催を続けました。子育て世帯に対しての地域からの切れ目ない応援のためです。(中略)移動が制限され、リモートワークが促進されるなか、多くの若者たちは地域に意識が向いてきています。私たちのもとへも、ボランティアやプロボノ的活動への問合せが多く、意欲の高さを感じています。こうしたうねりが新しい文化として地域に生まれてくることもそう遠くないのではないのでしょうか。」

●全国こども食堂支援センター・むすびえ

【動画公開】夏休み、こどもの居場所を守ろう！

<https://musubie.org/news/3741/>

コロナ禍での2度目の夏休みがやってきました。

昨年は、コロナによる春先の学校休校の影響もあり、まともな夏休みになりませんでした。

例年のような思い出をつくれなかったこどもたちがたくさんいたと思います。

-----「社会が変わっても、こどもの居場所を守りたい。」

そんな想いを込めて、むすびえから動画を公開しました。

ぜひご覧いただければと思います。

2 市民活動団体のための新型コロナウイルス対応お役立ちサイト

●全国のNPO支援組織の連合組織(アリスセンターも参加)

「新型コロナウイルス」NPO支援組織社会連帯(CIS)が運営するサイト

支援情報、行政情報、IT情報、NPOの活動情報、助成情報など様々な情報が分類されて時系列で情報提供。

<https://stopcovid19-for-npo.jp/page#6>

●新型コロナウイルス感染症対策サイト(神奈川県)

神奈川県が運営するコロナウイルスの感染状況、対応状況等の情報提供

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1369/>

●各種団体の緊急支援活動情報(助成財団センター)

「新型コロナウイルス感染症」の拡大に対する、各種団体の緊急支援活動の情報掲載について助成財団センターが、HP検索などで取得した情報提供。

<http://www.jfc.or.jp/grant-search/covid19/>

●【新型コロナ対応】NPO法人向け支援情報等まとめ(シーズ・市民活動を支える制度をつくる会) ⇒ <http://www.npoweb.jp/?p=17155>

●シーズ 新型コロナ 総会対応セミナー 当日動画・資料

12月決算の法人さんから、オンライン総会や監査等のご質問が増えてきましたので、昨年5月に3月決算法人向けに開催したセミナー動画・資料を再掲します。ぜひ、ご活用ください。

●当日動画(前半:総会対応部分 約30分)

⇒ <https://youtu.be/rEHTXLvrWfk>

※後半部分はその後の更新情報が多いため、改めてアップさせていただきます。

●当日資料

・メイン資料(パワポPDF)

⇒

https://drive.google.com/file/d/13sGEZ8TykeNF_BidcInl0eV08VOPkpFx/view?usp=sharing

・オンライン総会対応招集通知・議事録例(ワード)

https://drive.google.com/file/d/1ulAHdESbU4C5ZwaR3p_S_0r-D6-

7HKZX/view?usp=sharing

3 新型コロナ対応 政府支援策

- 1) 事業支援：月次支援金・事業再構築補助金・持続化補助金など
- 2) デジタル化支援：第2期 中小企業デジタル化応援隊
- 3) 活動支援：「孤独・孤立」対策活動、政府備蓄米活用など
- 4) 分野別支援：文化芸術活動支援

◆ 1) 事業支援 ◆

政府による新型コロナ対応支援の新たな支援策として、緊急事態宣言により影響を受けた事業者（NPO 法人等含む）への「一時支援金」が創設され、後継となる「月次支援金」も6月からスタートします。また、新分野展開や業態転換等を支援する「事業再構築補助金」もスタートしています。

シーズはじめ、NPO 側の要望も受けて、これらの支援策でも一定の NPO 法人が対象となります！

さらに、昨年度に引き続き、「小規模事業者持続化補助金」も通常枠・低感染リスク型ビジネス枠の公募がスタートしています。ぜひ、ご活用ください。

●【経済産業省】新型コロナウイルス感染症関連

「月次支援金」について

一時支援金の後継支援策として「月次支援金」が6/16から受付スタート
NPO 法人・公益法人等特例などの特例申請も6/30からスタート！

【月次支援金4・5月分8/15締切！】

4月分/5月分の月次支援金の申請期間は2021年6月16日～8月15日

6月分の月次支援金の申請期間は2021年7月1日～8月31日

7月分の月次支援金の申請期間は2021年8月1日～9月30日

8月分の月次支援金の申請期間は2021年9月1日～10月31日

⇒ https://www.meti.go.jp/covid-19/getsuji_shien/index.html

★事業再構築補助金★

「事業再構築補助金」特設サイト

第1次公募の採択結果が公表されました。NPO 法人等も10数件採択されました！

⇒ <https://jigyousaikouchiku.jp/>

※公募中、第3次公募スタート、以降再公募予定

★ものづくり補助金★

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」特設サイト

第6次公募の採択結果が公表されました。NPO 法人も採択されました！

⇒ <https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

※公募中、8/17締切

★持続化補助金★

「小規模事業者持続化補助金（低感染リスク型ビジネス枠）」特設サイト
第1次公募の採択結果が公表されました。NPO法人も採択されました！

⇒ <https://www.jizokuka-post-corona.jp/>

※公募中、9/8 締切、以降再公募予定

「小規模事業者持続化補助金（通常枠）」特設サイト

第4次公募の採択結果が公表されました。NPO法人等も多数採択されました！

【商工会】⇒ https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/

【商工会議所】⇒ <https://r1.jizokukahojokin.info/>

※公募中、10/1 締切、以降再公募予定

★IT導入補助金★

「IT導入補助金」特設サイト

第1次公募の採択結果が公表されました。NPO法人等も多数採択されました！

⇒ <https://www.it-hojo.jp/> ※公募中、9/30 締切

「GビズID」⇒ <https://gbiz-id.go.jp/top/>

◆2) デジタル化・オンライン化を進めたいNPO法人等 ◆

「第2期 中小企業デジタル化応援隊」事業

NPO法人等も対象、デジタル化やオンライン化等を進めるにあたって、支援を行うIT専門家への謝金を補助、ウェブ・クラウドサービス活用やzoom等のオンライン会議活用、オンラインファンディング支援などを幅広く対象

補助上限：最大3,500円/1h、30万/1社、150万/1専門家

※1社・1専門家あたりの上限は第1期（2020年度）と第2期（21年度）を通算

【事業全体 特設サイト】⇒ <https://digitalization-support.jp/>

※NPO側・専門家側ともに申請受付中、2021年9/30登録締切

◆活動支援 ◆

上記の事業者としてのNPO法人への支援策とは別に、コロナ禍で拡大・深刻化する孤独・孤立対策活動を行うNPO等への下記支援策もスタートします。

主に、補助金・委託事業等の創設や拡充となっており、孤独・孤立対策に取り組むNPO等へ国または自治体からの補助や委託を広げることで、対策を推進するものです。該当する団体の方は、ぜひ、ご活用ください。

◆3) 【内閣官房】孤独・孤立対策◆

「孤独・孤立対策に取り組むNPO等の皆様へ～緊急支援策のご案内～」を参照

1. 生活支援等・自殺防止対策
2. フードバンク支援・子ども食堂等への食材提供に係る補助
3. 子供の居場所づくり

4. 女性に寄り添った相談支援

5. 住まいの支援

⇒ https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodoku_koritsu_taisaku/index.html

↓各項目の具体的な内容

1. 生活支援等・自殺防止対策

●【厚生労働省】

- ・新型コロナウイルス感染症に対応した自殺防止対策事業の公募について
- ・生活困窮者及びひきこもり支援に関する民間団体活動助成事業の公募について

2. フードバンク支援・子ども食堂等への食材提供に係る補助

●【農林水産省】国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業のうち食品受入能力向上緊急支援事業の募集について

フードバンクにおける未利用食品の受入れ・提供の体制を拡大する取組を支援
運搬用車両・一時保管用倉庫（冷蔵庫・冷凍庫を含む）・入出庫管理機器等の賃借料の経費を補助

補助上限：500万、補助率10/10、補助総額約4億円

⇒ https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/shokusan/210324_184-1.html

※直接補助なのでNPO等の申請可、公募中、第2回9/30締切、以降計3回公募予定

●【農林水産省】学校給食用等政府備蓄米交付について

一定の条件を満たす、食事提供団体（子ども食堂など）や食材提供団体（フードバンク・フードパントリー・子ども宅食など）も対象

食材提供団体においては、交付上限拡充（300kgまで）や白米提供も可能になるなどの改善

【7月公募分より】子ども食堂・子ども宅食・フードバンク・フードパントリー等については、以下の拡充措置

（1）交付された政府備蓄米について、交付した数量を適切に使用した場合、必要に応じて年度内の追加申請が可能に

（2）同じ提供団体であっても、活動実態が異なる場合、それぞれの支部単位での申請が可能に

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/bichikumai.html>

※直接交付なのでNPO等の申請可、第2回受付7/1～8/13、以降計4回公募予定

3. 子供の居場所づくり

●【内閣府 政策調整担当】地域子供の未来応援交付金（子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業）について

- ・NPO等による「つながりの場づくり緊急支援事業」を創設
- ・居場所の提供や衣食住などの生活支援、学習支援、相談・アウトリーチなど

⇒ <https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/torikumi/koufukin/index.html>

※交付金の拡充なのでNPO等の直接申請は不可、自治体に要提案・相談。

4. 女性に寄り添った相談支援

★【内閣府 男女共同参画局】令和3年度実施 地域女性活躍推進交付金（拡充）

- ・13.5億円を追加措置、NPO等による「つながりサポート型」を創設
- ・NPOによるアウトリーチ型の相談、居場所の提供、SNS相談・24時間電話相談、ピアサポート、女性用品等の提供（いわゆる生理の貧困対策）等の取り組みを支援

⇒ https://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/kofukin/r03/ex.html

※交付金の拡充なのでNPO等の直接申請は不可、自治体に要提案・相談、第2回募集開始8/6締切

5. 住まいの支援

●【国土交通省】

居住支援法人が行う「孤独・孤立」対策支援活動への補助上限額拡充（1200万円に）

※前提として「居住支援法人」の指定が必要、直接補助なので指定されればNPO等の申請可、公募中、5/7締切

【参考】ひとり親世帯向けシェアハウスの基準を新設します！

～ひとり親世帯が入居するシェアハウスもセーフティネット登録住宅として登録できるようになります～

また、下記補助金等も孤独・孤立対策の一環やコロナ禍で深刻化した住まいの問題解決に活用できます。

●【国土交通省】「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」【特定課題対応型】
新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活困窮等に対応するため、空き家等の改修による住まいの提供と、見守りや自立支援を併せて実施しようとする取組への支援を行う事業

補助上限：3億円/案件、補助率は補助率は費目別設定

⇒ <http://www.swrc.co.jp/tkadai/index.html>

※直接補助なのでNPO等の申請可、公募中、随時受付・審査、9/30締切

その他、高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが安心して暮らせる住環境の整備を促進するため、モデル的な取組に対して支援する以下のタイプも同様に公募中

補助上限は、課題設定型・事業者提案型：3億円/案件、事業育成型：500万円/案件、補助率は費目別設定

⇒ <http://100nen-sw.jp/application/index.html>

※直接補助なのでNPO等の申請可、公募中、第1回応募7/26締切、第2回応募9/30締切

◆4) 分野別支援◆

●【文化庁】コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業(ARTS for the future! 事業)

感染対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、文化芸術振興の幅広い担い手を

巻き込みつつ、「新たな日常」ウイズコロナ時代における新しい文化芸術活動のイノベーションを図るとともに、活動の持続可能性の強化に資する取り組みを支援（緊急事態宣言下でのキャンセル料等補助含む）

予算総額：250 億円、補助上限額：最大 2500 万円/団体、定額補助

4 月 28 日に開催したオンライン説明会の動画・資料も掲載

⇒ https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/20210326_01.html

【特設サイト】⇒ <https://aff.bunka.go.jp/>

※NPO 法人等も申請可、二次募集予定、以降計 3 回公募予定

●【文化庁】文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（補助金）

劇場・音楽堂等（劇場法の実演芸術を行う文化施設）、博物館（博物館法の登録・相当施設、類似施設も含む）、ライブハウス、映画館の設置者（管理者も可）等の感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取組を支援

予算総額：50 億円、補助上限額：最大 1 億円/団体、補助率：1/2

⇒ https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92901901.html

※NPO 法人等も申請可、次回公募 5/24～6/11 予定

●【経済産業省】コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金

「J-LODlive2」

国内におけるポストコロナを見据えた収益基盤の強化に資する公演及び当該公演を収録した動画の全部又は一部の海外向けのデジタル配信の実施を支援

補助上限額：3000 万円/件、補助率：1/2

【特設サイト】⇒ <https://j-lodlive2.jp/>

※NPO 法人等も申請可、公募中、2022 年 1/31 まで隔週金曜日締切

「J-LODlive2（キャンセル料支援）」

開催予定であった公演を延期・中止した主催事業者に対して、当該公演等のキャンセル費用及び関連映像を活用した動画の制作・配信の実施を支援

補助上限額：2500 万円/件、補助率：10/10

⇒ <https://cancel.j-lodlive2.jp/>

※NPO 法人等も申請可、公募中、9/24 まで隔週金曜日締切

4 新型コロナ対応の民間助成金

★神奈川県共同募金会

令和 3 年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン

令和 3 年度においても、神奈川県共同募金会では、全国の共同募金会とともに、「いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～」をテーマとした全国キャンペーンを実施することとなりました。

■配分対象団体

こども食堂、学習支援、フードパントリー等、地域において子どもや家族、生活に困窮する方々等に対する支援活動を実施している民間非営利団体で、法人格の有無は問いません。

■配分額 1団体 20万円以内（万円単位で申請）

■申請期間 令和3年4月1日（木）～令和3年9月30日（木）

詳しくは、<http://www.akaihane-kanagawa.or.jp/whatsnew/229.html>

●公益財団法人 JKA

「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」について

・新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のための物資の整備事業

例) PCR検査キット、サーモカメラ、空気清浄機、パルスオキシメータなど

・新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、屋外で使用して3密回避などを進めるうえで必要な整備事業

例) テント、温冷風機、発電機など

補助率：100万円まで10/10、100万円超部分は1/2

⇒ <https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/covid19.html>

※公募中、受付期間（第1回）6/10～7/16、（第2回）8/10～8/31

●公益財団法人 さわやか福祉財団

「地域助け合い基金」ご寄付のお願いと助成のご案内

◎コロナ禍対応助成（当分の間、優先配分）／◎共生社会推進助成

※公募中、随時受付・審査

●株式会社日本経済新聞社

「第5回 日経ソーシャルビジネスコンテスト」

テーマ：SDGsを意識したソーシャルビジネス

この未曾有の事態の中で持続可能な社会の実現に向けて、社会課題に果敢にチャレンジするプレーヤー、そしてその志を応援

大賞：賞金100万円、優秀賞：賞金50万円、特別賞（Covid-19関連）：賞金50万円、学生部門賞：賞金10万円、各部門に賞盾も贈呈

⇒ <https://social.nikkei.co.jp/about.html>

※公募中、9/5 締切、自薦

●公益財団法人 パナソニック教育財団

「2021年度 子どもたちの“こころを育む活動”表彰」

コロナ禍の影響により一時休止している活動やオンラインの活動なども応募可

全国大賞（1件）：賞状および賞金（50万円）

優秀賞（5件程度）：賞状および賞金（20万円）

⇒ http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

※公募中、9/10 締切、自薦（他薦も可）

●住友生命保険相互会社

「未来を強くする子育てプロジェクト」子育て支援活動の表彰
より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を表彰

◎文部科学大臣賞・厚生労働大臣賞／表彰状 大賞の1組に授与

◎スミセイ未来大賞／表彰盾、副賞100万円 2組程度

◎スミセイ未来賞／表彰盾、副賞50万円 10組程度

※コロナ禍での活動への影響や活動の工夫を考慮

⇒ https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/child/bosyu.html

※公募中、9/10締切、自薦（ただし要推薦書）

【間接対象】

直接対象ではないが、新型コロナによって顕在化した、より深刻化した課題・問題等への活動も対象となりうる助成金など

なお、休眠預金活用制度においては、上記全国対象だけではなく、各都道府県・広域ブロック単位での公募も実施中です。また、2021年度も総額40億円規模の新型コロナ対応支援助成が実施される見込みで、3月から「資金分配団体」の随時公募が、6月末まで通常枠の公募もスタートしています。詳細は下記ページやJANPIAホームページをご覧ください。

【JANPIA】新型コロナウイルス対応支援助成〈2021年度随時募集〉の実施について

⇒ https://www.janpia.or.jp/other/news/news/news_20210305.html

2021年度 資金分配団体の公募〈第1回通常枠募集〉の実施について

⇒ https://www.janpia.or.jp/other/news/news/news_20210426_02.html

2)まちづくり

◆
【新情報】鎌倉市長選市民団体 候補者を公募

(参考 タウンニュース鎌倉版 8/13)

任期満了に伴う鎌倉市長選が10月に予定される中、市民団体らが住民主体の市政を実現する候補者を見つけようと「市民と歩む市長を創る会」（馬場一・沢田正夫共同代表）を結成し、8月5日、市役所内で記者会見を行った。

同会は、9つ以上の市民団体などが参加し100人以上の会員による組織になるという。12年におよぶ松尾崇市政や議会との関係に疑問を持ち、野村総研跡地活用（梶原4丁目）、市役所移転を含む深沢地区開発などについても再考を望んでいる。

候補者は公募で決定。応募資格は日本国籍を有し、満30歳以上（投票日以前）で鎌倉市に関係した人。8月15日までに応募の意思を団体に伝え、その後、小論文等を提出。審査を経て決定する。

応募に関する問い合わせは馬場共同代表【携帯電話】080・4655・3819、

◆-----
【新情報】 新しい空き家の利活用

地域とつながる“母子シェアハウス”

(参考 藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」2021・7)

藤沢市内にある利用目的の定まっていない空き家は、総務省の「平成30年住宅・土地統計調査」によると5000戸以上あるとされています。そういった空き家の新しい利活用の形として、地域コミュニティの活性化にも繋がる“母子シェアハウス”が今年8月高倉にオープンする。(中略)事業を展開する「特定非営利活動法人すまいる」代表の福田 徹(ふくだ とおる)さんは、不動産会社の経営者として数年前から空き家利活用に取り組んでいる。「空き家の課題解決をして同時に社会課題解決に寄与できたらという思いから、空き家利活用の母子シェアハウス設立運営事業に取り組み始めました。これまで空き家の利活用が進まなかった理由としてあげられることは、オーナーさんとの関係性などで条件がまとまらない、例えば家賃が高い、用途変更が出る使い方がその物件ではできない、近隣問題といった実情があります」

続きは<http://npocafe.f-npon.jp/pub/F-wave2107.pdf>

問合せ先 くらす(株)内すまいる事務局 藤沢市鵜沼海岸3-3-5-2F

0466-35-1150 HP: <https://minnano-smile.asia/>

◆-----
【新情報】 神奈川県社会福祉センターオープン 神奈川県社会福祉協議会7月末移転

(参考:福祉タイムズ2021・7 No.836) http://www.knsyk.jp/pdf/knsyk_A4.pdf

神奈川県社会福祉協議会(現:神奈川県社会福社会館)は新たに整備された神奈川県社会福祉センターへ移転し7月末から業務を開始した。新センターは地上8階建てで住所は、神奈川県反町3丁目17-2。反町駅徒歩1分。電話番号は045-311-1422 FAX.045-312-6302
メール soumu@knsyk.jp

3)居場所づくりの活動(子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク)

◆-----
【新情報】 認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

「子ども食堂の現状&困りごとアンケート」最新調査結果 発表

<https://musubie.org/news/3720/>

(参考 むすびえ通信 7月 26日)

新型コロナウイルスの感染が拡大するなかで、全国のこども食堂の現状と困りごとを聞くアンケート調査を行なっています。コロナ禍における過去 4 回に続き、第 5 回の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

▼詳細はコチラから (PDF リンク)

https://musubie.org/wp/wp-content/uploads/2021/07/musubie_Q5_sheet_0716.pdf

◆

【更新】神奈川県内の寄付食品回収 (フードドライブ) と地域の食支援団体 (フードバンク/パントリー)
(出典: かながわフードバンクの HP)

1 神奈川県内の寄付食品回収 (フードドライブ) 拠点一覧

https://fb-kanagawa.com/support_food_kojin.html#kaisyukyoten

2 神奈川県内の地域の食支援団体 (フードバンク/パントリー)

<https://fb-kanagawa.com/foodbankpantry.html>

4) 高齢者福祉・介護の活動

5) 障がい者福祉

◆

【新情報】 ナイスハート基金

2020 年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究

https://niceheart.or.jp/?page_id=1624

2019 年度からはじめた「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究」と題した調査は、初年度として各地の取組の事例を行っている団体への訪問調査を行い、その活動のきっかけやスポーツの内容、協力団体の状況、現状での課題などを聞き取り、共通する要点を明らかにするべく実施し、報告書としてまとめることができました。

2020 年度には、地域を基盤とした社会参加のためのユニバーサルスポーツの実例と障害福祉サービス事業所との連携の状況を明らかにすることを目的として、障害福祉サービ

ス事業を主な対象として web によるアンケート調査を実施いたしました。障害のある方にとって、大きな社会資源である障害福祉サービス事業所の取組の現状と課題を整理し、地域におけるスポーツを通じた取組の拡がりを求めて、この報告書をまとめた。

【問合せ先】(公財) 国際障害者年記念ナイスハート基金

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 4 階

電話番号 : (03-3434-2170) e-mail アドレス : (info@niceheart.or.jp)

Web サイト(URL:<https://www.niceheart.or.jp>)

7) 外国籍市民との共生活動

◆
【新情報】神奈川県・かながわ国際交流財団

かながわ地域日本語教育フォーラム

～地域日本語教育に多様な担い手が関わるためには～ (9/12)

かながわ地域日本語教育フォーラム (チラシ) (PDF : 1,727KB)

神奈川県は、多文化共生の地域社会づくりの一環として、地域日本語教育の総合的な体制づくりを進めています。かながわの今後の地域日本語教育を皆様と一緒に考える機会となるようフォーラムを開催します。

1 日時

令和3年9月12日(日曜日) 14時から15時40分まで

「ZOOM」によるオンライン開催 視聴用ウェブページ入場可能時刻(13時30分)

2 定員等

定員 170名(無料)

4 主催

神奈川県(実施:(公財)かながわ国際交流財団)

5 申込方法・申込に関する問合せ先

(1)申込方法

申込フォームよりお申し込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/nihongokyouiku/

申込締切:令和3年9月8日(水曜日)

(2)申込に関する問合せ先

(公財)かながわ国際交流財団 日本語事業担当

電子メール: kifnihongo@kifjp.org

電話: 045-620-0011

◆

【新情報】

「人身売買との闘い」指宿弁護士を米表彰

(朝日新聞 7月3日)

(2021年人身取引報告書 日本に関する部分) (在日米国大使館)

<https://jp.usembassy.gov/ja/trafficking-in-persons-report-2021-japan-ja/>

米務省は7月1日、世界の人身売買に関する年次報告書(2021 Trafficking in Persons Report)を発表し、人身売買と闘う「ヒーロー」として表彰する8人のなかに、日本で外国人労働者の権利保護に取り組む指宿(いぶすき)昭一弁護士を選出した。指宿弁護士は、スリランカ人女性が名古屋の入管施設で死亡した問題でも遺族の代理人を務めている。

報告書は、指宿弁護士の取り組みを「日本の技能実習制度における強制労働の被害者を支援し、虐待を防止してきた」と評価した。表彰式で指宿弁護士は「日本の技能実習制度は、人身取引と中間搾取の温床になっている。この制度を数年以内に廃止に追い込み、外国人労働者が団結して権利を主張できる状況を作り出す」と訴えた。

9) 子ども・若者・女性の支援

◆

【新情報】東京ボランティア・市民活動センター

「特集 若者に寄り添う市民活動 ～ 若年の妊娠」ネットワーク 372号(2021年6月号)

<https://www.tvac.or.jp/special/nw/>

生活困窮や孤立、引きこもりや不登校、就学・就労問題……若者はさまざまな課題に直面している。そして、若者に対して寄り添い、支援をしている市民活動がある。その活動の取り組みから見える社会の問題とは何なのか、シリーズとして本誌で伝えていきたいと考えている。今号では、「若年の妊娠」にフォーカスをあてた。誰にも相談できずようやくたどり着いた先で、それぞれの活動が、どのような視点や考えに基づき、どのように本人への寄り添いや支援に取り組んでいるのかについて、市民活動団体に取材や寄稿を依頼した。「妊娠」をめぐって若い女性が抱える課題や生活の現実などをふまえ、それらを女性だけの問題としないためにどうするべきかを考える機会としたい。

詳細は、<https://www.tvac.or.jp/special/nw/> へ。

◆

【新情報】ポータルサイト「こどもみらい応援ネット」開設

<https://www.kodomoouen-net.com/>

こども・若者・養育者を見守り、応援する神奈川を目指してNPOと企業、団体等をつなぐ

ポータルサイトが開設された。このサイトは、神奈川県と神奈川子ども未来ファンドとの協働事業で基金21により設置され、神奈川子ども未来ファンドが運営を行う。



なくそう戸籍と婚外子差別・交流会

◆婚外子差別撤廃に向けた電話相談

■婚外子差別にN o ! 電話相談。 毎月1回、いずれも木曜日に行います。

<午後2時～8時> 電話番号 042-527-7870 相談は無料(電話代のみ有料)

■2021年の実施日

1月7日、2月4日、3月4日、4月1日、5月6日、6月3日

7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日

「婚外子差別にN o ! 電話相談」に取り組んで今年で9年になります。わからないことや日々の思いなど、ぜひお伝えください。お電話お待ちしております。

主催 なくそう戸籍と婚外子差別・交流会

問合せ先 kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

取次先 FAX&TEL 0422-90-3698(留守電対応)

10) 様々なネットワークの活動



【新情報】東京ボランティア・市民活動センター

支援力アップ塾スタートアップ編

連続講座 2021年9月15日、9月29日、10月23日<全3回>

<https://www.tvac.or.jp/download/5SYFVWZdZQud.pdf>

スタートアップ編は、市民活動を支え、地域をつなぎ、ともに課題解決を目指す中間支援組織の新たな仲間になった新任スタッフやもう一度基礎を確認したいスタッフを対象にしています。「地域をつなぐって、そもそも何をするのー?」「期待される役割ってー?」

スタートアップ編は、そんな疑問に答える3日間の基礎講座です。

スタッフに求められる役割を知り、大切にしたい価値やマインドをみがきます。

※研修内容の詳細および申込みは、WEBサイトをご確認の上、お申し込みください。

<https://www.tvac.or.jp/special/im/startup/>

■ 定員 10名(先着順)

■ 参加費 16,000円

■ お問い合わせ先

東京ボランティア・市民活動センター (支援力アップ塾担当)

TEL : 03-3235-1171 FAX : 03-3235-0050 E-mail : im@tvac.or.jp

11) 市民基金・寄付の活動

◆-----
ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)助成公募 第10回 ご案内

【助成申請 受付期間】 2021年9月1日から9月20日

<http://socialjustice.jp/p/2021fund/>

～おもいを聴く。おもいに気づく。

一人で抱えていた困難を、みんなで共有する。

公正な社会を、みんなで創る～

【助成公募テーマ】

・特設テーマ

『グローバル化社会における草の根民主主義』に取り組むアドボカシー(社会提案・政策提言)活動

～この特設テーマ枠は、SJFに遺贈くださった早川昭久氏の「小さな声をもっと大事に」という生前の想いを未来に生かす市民のみなさんへの贈り物です。SJFが翌年度に向けて注視しているテーマを今年度以降も提示していきます～

・基本テーマ

『見逃されがちだが、大切な問題』に取り組むアドボカシー活動

【助成金額】

1案件の助成上限は100万円です。助成総額は300万円の予定です(二つの公募テーマ別の助成総額は、申請状況を鑑み審査過程で決定します)。

備考)自己資金充当、費用項目について条件はありません(助成金は人件費にも充当可能)。

【助成期間】

以下のいずれかが対象となります。

・2022年1月から22年12月(1年間)

・2022年1月から23年12月(2年間)

【詳細】ご応募に際しては、必ず

専用ページ(<http://socialjustice.jp/p/2021fund/>)にてダウンロードできる助成公募要項で詳細をご確認ください。

12) 人権・平和の活動

◆-----
【更新】非核市民宣言運動・ヨコスカ 月例デモの実施状況

(団体情報紙 たより321から)

●2021 年月例デモ（月末の日曜日に実施）の状況

・1月（中止）2月（21名 ゲート前スタンディング）、3月（27名 サイレント）、4月（25名 サイレント）5月（22人 ゲート前スタンディング）6月（25人サイレント）

●2021 年夏のカンパ、よろしくお願いします。コロナ禍ですが、学習会や抗議活動は続いています。これもみなさまのご協力があつての活動です。2021 年 6 月 22 日現在、73,456 円の赤字です。今後の活動のためカンパのほどよろしくお願いします。

●非核市民宣言運動・ヨコスカとは？

1976 年からスタートし現在も横須賀市内を練り歩いて平和・安全保障・自衛隊派遣問題などを訴えています。

●（参考）2019 年は、月平均参加者は、34 名。

●活動状況は、団体 URL <http://itsuharu-world.la.coocan.jp> をご覧ください。

●関連団体の平和船団の活動は URL <http://heiwasendan.la.coocan.jp> をご覧ください。

【問合せ先】非核市民宣言運動・ヨコスカ 横須賀市本町 3-14 山本ビル 2F

電話&FAX 046-825-0157

◆ 【更新】 ミャンマーへの NGO・NPO 等の支援の動き

●「ミャンマー国軍の資金源」を断つことの要請書等の提出とアクション
（出典：特定非営利活動法人メコン・ウォッチ HP ）

●ミャンマーで 2 月 1 日に国軍によるクーデターが発生してから 6 か月が経ちます。常軌を逸したミャンマー国軍の暴力により、クーデター後、948 名もの罪のない市民が命を奪われ、948 名が不当に拘束されたままです（8 月 6 日現在）。すでに恣意的な有罪判決を宣告されたジャーナリストらもいます。新型コロナウイルスの感染拡大により、日々数百人の死者がでていと伝えられています。少数民族地域で 20 万人以上が避難生活を強いられている状況も伝えられており、毎日増え続けるこうした犠牲者の報せに胸が痛むばかりです。一方、ミャンマー市民による不服従運動（CDM）は、公務員の大量解雇やインターネットのアクセス遮断等の情報制限が続く中でも、粘り強く続けられています。

●ミャンマーのこうした事態が一刻も早く改善し、またミャンマー市民の闘いを支援するため、ミャンマーで経済協力やビジネスを行ってきた日本政府や企業に対し、「ミャンマー国軍の資金源を着実に断つ」ように、要請書の提出やアクション（要請活動）が行われています。国や関係企業・団体は、具体的な対応や自らの責任について何ら発言をしていない状況が続いています。メコンウォッチ等の NGO は、民主主義と自由を求めて未来のために命をかけて闘っているミャンマー市民の声に応え、「ミャンマー国軍の資金源を着実に断つ」ための具体的な措置をとり、その対応について公に示すことを求めるため、共同要請書、共

同声明の提出及びアクションを行っています。

● 共同要請書、共同声明は、これまでに数回、日本国政府、関係団体に発出されています。直近の共同声明は8月1日で、地球の木、WE21 ジャパン、アリスセンターも賛同団体になっています。8月7日に「ミャンマーを巡る現状を知り、私たちは何ができるのか」をテーマに、オンラインでWE21 ジャパン、地球の木、アリスセンターの3者共催により緊急学習会を開催しました。

(メコンウォッチ HP) <http://www.mekongwatch.org/>

(直近のアクションと要請活動)

● **【#ミャンマー国軍の資金源を断て】** 人権侵害に加担しないで！ミャンマーでのガス事業 @ 経産省・JX 石油開発・三菱商事前アクション

日時：2021年6月18日（金） 詳細はこちら(FoE Japan のページへ)

https://foejapan.org/aid/doc/210618_myanmar.html

● **【#ミャンマー国軍の資金源を断て】**「日本政府は Act Now！」官邸前アピール

日時：2021年6月1日（火） 詳細はこちら(FoE Japan のページへ)

https://foejapan.org/aid/doc/210601_myanmar.html

● **【#ミャンマー国軍の資金源を断て】** ストップODA！ダイ・イン @ 外務省前

日時：2021年5月21日（金） 詳細はこちら(FoE Japan のページへ)

https://foejapan.org/aid/doc/210521_myanmar.html

(共同要請書・共同声明)

● **【共同声明】** ミャンマー：クーデターから半年 日本政府は国軍の暴挙を止めるための具体的な行動を（2021年8月1日） http://www.mekongwatch.org/PDF/rq_20210801.pdf

● **【共同要請書】** 日本政府はミャンマーに対する経済協力事業の全面的な見直しを（2021年6月1日）→要請書 http://www.mekongwatch.org/PDF/rq_20210601.pdf

● **【共同要請書】** ミャンマー国軍を利する日本政府の経済協力事業を直ちに停止するよう求めます（2021年4月1日）

→要請書 http://www.mekongwatch.org/PDF/rq_20210401.pdf

● **【共同声明】** ミャンマー：クーデターから半年 日本政府は国軍の暴挙を止めるための具体的な行動を（2021年8月1日） http://www.mekongwatch.org/PDF/rq_20210801.pdf

● **【オンライン視聴のご案内】**

院内集会「クーデター後の日本政府の対ミャンマー支援 国軍との経済的関係を断ち切るためには」

日時：2021年4月9日（金）15：30～17：30 場所：参議院議員会館

詳細・資料はこちら

<http://www.mekongwatch.org/events/lecture01/20210409.html>

YouTube アーカイブ配信で視聴可能です。 <https://youtu.be/P1cc5mzWs7k>

14) 環境・エネルギーの活動



◆-----
【新情報】祝島沖の上関原発計画の2021年夏

一島民の会のオンライン署名ー

<http://chng.it/MfmzrZfytC>

(参考:「地球号の危機ニュースレター」2021年8月494号(大竹財団))

山口県の上関町で中国電力によって計画されている中国電力・上関原発計画は1982年に計画が持ち上がりましたが、地元の根強い反対運動によって阻まれ建設はいまだ実現されていません。2009年からは建設予定地の田ノ浦での埋め立て作業が強行されようとしていましたが、2011年3.11の原発震災発生を期に計画は凍結されました。しかし、中国電力はそれから敷地内のボーリング調査や道路・トンネルの整備をすすめ、2019年からは埋め立て予定海域の海上ボーリング調査にも乗り出しました。それに対岸の祝島の漁民(上関原発を建てさせない祝島島民の会等)は抗議の意を込めて海域に漁船を出して操業、中国電力は結果として準備作業に入らず海上ボーリング調査は手つかずのまま中止となりました。2020年にも同様の経過をたどり、今年も2021.7.7〜10.6の3ヶ月間予定地海域の占用許可を申請し、海上ボーリング調査を行なおうとしています。

それに対して、上関原発を建てさせない祝島島民の会は、国の第6次エネルギー基本計画にも原発の新增設を明記しないよう、経産省エネルギー庁へオンライン署名活動を開始した。7月21日に新しいエネルギー基本計画の改正案が経産省から示されるとの報道を受け、前日20日に、第一次署名(約10000筆)の提出を行った。

第一次署名の提出後も、今年10月末のエネルギー基本計画の動向をみつつ、第二次の提出を検討していて、オンライン署名への協力を呼びかけている。

上関原発を建てさせない祝島島民の会のオンライン署名

「上関原発計画に反対します!原発の新設をわたしたちは望みません。経産省・資源エネルギー庁は、エネルギー基本計画に「原発新增設」を明記せず、脱原発に舵を切ってください。」

発信者:上関原発を建てさせない祝島島民の会 宛先:経済産業省(資源エネルギー庁)

<http://chng.it/MfmzrZfytC>

(連絡先)上関原発を建てさせない祝島島民の会事務局

〒742-1401 山口県熊毛郡上関町祝島 218

FAX:0820-66-2110

メールフォーム:<http://touminnokai.main.jp/contact.html>

上関原発を建てさせない祝島島民の会ブログから要約抜粋 <http://touminnokai.main.jp/>

◆-----
原子力市民委員会 (CCNE)

連続オンライン企画「原発ゼロ社会への道」(当面、隔週月曜日 17~18 時に開催予定)

<http://www.ccnejapan.com/>

原子力市民委員会では、福島第一原発事故から 10 年目を迎える節目に、発足以来 3 冊目となる「原発ゼロ社会への道」の作成に取り組んでいます。3 月 8 日(月)から、各章の要点やドラフトの解説・意見交換を行うオンライン企画をシリーズで開始しています。8 月 23 日に最終回第 12 回『原発ゼロ社会をどうつくるか』が開催された。

本書では、原子力災害から 10 年を振り返り、過酷事故による不可逆的被害をを起こしながら、いまだ原発推進政策を続けようとする政府や電力会社の「無責任の構造」「不可視の構造」に迫ります。そしてこれからの課題を現実的に見据え、真の復興や脱原発に向けて市民が担うべき役割について展望します。現在進められているエネルギー基本計画の改定議論でも、いまだ原子力や火力発電が重視されています。連続オンライン企画を通じて、皆さんとともに、望ましいエネルギー政策を検討していきたいと思います。ぜひ多くの方にご参加いただくと幸いです。

過去の回の動画・資料は、こちらからご覧いただけます。

http://www.ccnejapan.com/?page_id=11776

次回以降は詳細が決まり次第、web に掲載します。

【ご参考】これまでの「原発ゼロ社会への道」

『原発ゼロ社会への道——市民がつくる脱原子力政策大綱』(2014 年 4 月)

http://www.ccnejapan.com/?page_id=3000

『原発ゼロ社会への道 2017 — 脱原子力政策の実現のために』(2017 年 12 月)

http://www.ccnejapan.com/?page_id=8000

原子力市民委員会 事務局

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 4-15 新井ビル 3 階

(高木仁三郎市民科学基金内)

TEL/FAX: 03-3358-7064

URL : <http://www.ccnejapan.com/>

e-mail : email@ccnejapan.com

◆-----
【新情報】公益財団法人日本自然保護協会

アプリを使って、生きもの調査&ごみ拾いをする「砂浜ムーブメント 2021」開催

(終了 12/31)

海洋プラスチックごみの漂着や砂浜の減少で、危機に直面する日本の砂浜。

公益財団法人日本自然保護協会は、株式会社バイオーム、株式会社ピリカと、アプリを用いた自然調べを砂浜対象に実施中。砂浜の生き物を写真にとって、アプリに投稿したり、ごみ拾いするなどして、日本の自然を記録したり、守ったりする取り組みです。

自然調べは、毎年、いろいろな自然の場所で実施され、その分析結果は多くの人の注目を集めるものとなっています。

今年は12月31日まで実施されています。みなさんも参加してはいかがでしょうか？

- ・主催：公益財団法人日本自然保護協会
- ・共催：株式会社バイオーム、株式会社ピリカ
- ・開催時期：2021年12月31日（金）まで
- ・参加費：無料
- ・詳細：<https://www.nacsj.or.jp/media/2021/06/25842/>

◆-----
【更新】横須賀石炭火力発電所訴訟第7回期日結果（2021/5/17）（横須賀火力発電所の新1・2号機の環境影響評価書確定通知の取り消しを求める行政訴訟）

次回：第8回期日 2021/9/3/14:00

9月3日（金）の第8回公判のオンライン報告会が9月7日（火）18時から19時こちらから申し込みください。 <https://yokosukaclimatecase.jp/>

以下、支援団体 認定特定非営利活動法人 FoE Japan HP から抜粋作成。

詳細については、<https://foejapan.wordpress.com/2021/05/17/yokosuka-file7/>

「横須賀石炭火力行政訴訟の第7回公判期日が開催されました。

被告からの反論陳述が予定されていた今回、被告の反論書面があることを最初に確認しました。原告と被告の双方の提出書類等の確認後の意見陳述は原告からの陳述から始まりました。今までの裁判では、原告適格や温暖化による漁業への影響、環境アセスメントの簡略化の非整合性などが原告の主張の主な内容でしたが、今回は少し角度が変わり、被告の裁判に対する姿勢を問う陳述がなされました。しかし、噛み合わない被告の回答が行われ、裁判官からも被告に「事実」と「主張」を峻別し、原告の「事実」を否定する場合は具体例をもって反論するようにとの発言がありました。（今回も実質的な反論は国からはなかった。）

今回の裁判の傍聴の参加者には、建設地の様子がよく見える団地に住んでおられる方もいらっしゃいました。日々クレーンが忙しく稼働し建設が着々とすすむ様子にも、今回のようになかなか終わりの見えづらい裁判にも、焦りを感じられていました。

次回の裁判は9月3日（金）14:00、東京地方裁判所の予定です。」

●9月3日（金）の第8回期日のオンライン報告会が9月7日（火）18時から19時

こちらから申し込みください。 <https://yokosukaclimatecase.jp/>

(問合せ先) 横須賀石炭火力発電所訴訟原告団事務局

TEL 03-3263-9210

Email: tokyo@kikonet.org ※を@に変えてお送りください。

団体 HP <https://yokosukaclimatecase.jp/>

(支援団体)

認定特定非営利活動法人 FoE Japan HP:

<https://www.foejapan.org/climate/nocoal/activity.html>

3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方

4 見落としがちで大切な取組み・催し

1 【募 集】

(シンポジウム・セミナー・講座等)

◆ 【新情報】 NPO 支援財団研究会

NPO 支援財団研究会 2021 WEB シンポジウム の開催 (9/10)

<テーマ> : 「秋の助成金応募シーズン到来。

プログラムの狙いを理解して提案力を高めよう！」

=====

NPO 支援財団研究会 2021 WEB シンポジウム(参加費無料)が開催

<開催日時> 2021 年 9 月 10 日(金) 14:00~17:30

<主催> NPO 支援財団研究会(事務局: 公益財団法人 助成財団センター)

<申し込み並びに詳細>

<https://20210910nposympo.peatix.com/>

◆ 【新情報】 横浜市市民協働推進センター主催講座

●よこはま NPO 会計セミナー (9 月から 11 月 計 4 回)

会計初心者向け 受講料 6000 円 オンライン併用

<https://kyodo-c.city.yokohama.lg.jp/news/kaikei2021/>

●ポストコロナの参加の場の開き方 (8/28 9/9)

困っている時こそ、「自分」から始めるストーリー

無料 オンライン開催

<https://kyodo-c.city.yokohama.lg.jp/news/sankanoba/>

問合せ先

横浜市市民協働推進センター

231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10 横浜市庁舎1F

TEL: 045-671-4732 FAX: 045-223-2888



【新情報】 関内イノベーションイニシアティブ(株) 主催

ソーシャルベンチャー・スタートアップ講座 (9月から11月 全8日間)

<https://kii-net.jp/news/sv2021/>



開催期間 : 2021年9月15日(水)から11月7日(日)

水曜日/日曜日に実施 全8コマ8日間

対象者 : ソーシャルビジネス分野での起業を考えている方

応募締切 : 2021年9月8日(水)まで ※先着順。定員になり次第締切

開催場所 : オンライン (Zoom および GoogleClassroom を使用予定)

定員 : 50名 (先着)

受講料 : 44,000円 (税込)

※視聴のほか、テキスト (一部除く)、プラン相談等を含みます。単発受講不可。

詳細はこちらから <https://massmass.jp/event/svsp/2021/>



NPO サポートセンター主催講座

■ 1.基礎知識と効率化のノウハウを学び、改善につながる「NPO 会計業務入門」

生放送日時 : 9月14日(火)、10月5日(火) 14:00-16:00 の全2回

<https://npo-sc.org/training/good-business-studio/curriculum/21011/>

■ 2.新時代をサバイブする寄付戦略「デジタルファンドレイジング基礎ゼミ」

生放送日時 : 9月28日(火)、10月12日(火)、10月26日(火) 14:00-17:00 の全3回

URL : <https://npo-sc.org/training/good-business-studio/curriculum/21012/>

●問い合わせ

NPO 法人 NPO サポートセンター

担当：小堀、佐藤、笠原

<http://npo-sc.org/training/good-business-studio/>

TEL：03-6453-7498

E-Mail：gbs@npo-sc.org



【新情報】主催：日本ファンドレイジング協会・災害対応チャプター

「あの災害、あのファンドレイジング～西日本豪雨」(第1回)(8/27)

話し手：石原達也さん(NPO法人岡山NPOセンター代表理事)

<https://www.facebook.com/events/355023212816030/>



<開催概要>

- ・話し手：石原達也さん(NPO法人岡山NPOセンター代表理事)
- ・聞き手：永井美佳(社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事・事務局長/
NPO法人日本ファンドレイジング協会災害対応チャプター共同代表)
- ・内容：西日本豪雨における災害対応ファンドレイジングの実践とは/
災害対応ファンドレイジングの極意に迫る／
- ・日時：2021年8月27日(金)19時-20時(放課後タイムは20時30分迄)
- ・場所：Zoom会議室(申込者へURLをご案内します)
- ・参加費：無料
- ・定員：30人
- ・申込先：<https://bit.ly/37rW3gH>



■主催 パナソニック株式会社・日本NPOセンター

「NPO/NGO組織基盤強化サポート研修」(9月から1月)

<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=22930>

NPOが自らの足腰を強くし自信をもって進めるよう、組織基盤を強化しようとする際に、伴走し、ときに新しい視点を提供し、一歩踏み出す行動を後押しする支援者の存在が大きな助けになります。

この研修では、そうした組織基盤強化支援の中でも、特に基本となる「組織をみて課題を整理する力」に焦点を当て、実在するNPOに協力いただき、グループでケース検討を行うことを通じて、参加者と経験豊富な講師、チューターとともに磨いていきます。

■開催日時

【基礎編】 時間はいずれも13:30～15:30

9月17日(金)基礎レクチャー(1)「本研修における組織基盤強化の考え方と組織診断の概

要」

9月24日（金）基礎レクチャー(2)「実践者から聞く～組織をみる視点」

講師：河合 将生（かわい・まさお）さん NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表

【実践編】 時間はいずれも 13:30～16:00

10月8日（金） 実践ワーク1 組織課題についての基礎インタビュー（1）

11月8日（月） 実践ワーク2 組織課題についての基礎インタビュー（2）

12月8日（水） 実践ワーク3 把握した組織情報を読み解き、課題を整理する

1月14日（金） まとめ 事例における組織課題の見立てを共有する

※基礎編のみの参加も受け付けます。

※実践ワーク編では毎回インタビュー内容の整理などの事前課題が出ます。

※実践ワーク編の内容は進行に応じて変更することがあります。

■対象

以下の全てにあてはまる方

(1) 現在、NPO 支援や NPO 活動に従事している

(2) 2年以上の NPO 支援経験、もしくは NPO 運営層として自団体の組織基盤強化の経験がある

(3) 今後、NPO の伴走コンサルティング等を実践していく意思がある

* NPO 支援センタースタッフ、個人事業主、NPO を運営されている方（事務局長を含むリーダー層）を歓迎します

* 法人格は問いません

* 研修終了後、NPO の組織基盤強化をサポートする伴走コンサルティング活動が期待されています。

■定員

基礎編のみ参加 30名

基礎編+実践編通しての参加 20名（先着順）

■参加費

10,000円（税込）

基礎編のみの参加は 3,000円（税込）

■詳細・お申し込み <https://www.jnpoc.ne.jp/?p=22930>



◆あーすぶらぎ

特別展「生と死の間で ホロコーストとユダヤ人救済の物語」

2021年06月26日(土)～2021年08月29日(日)

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによる迫害で多くのユダヤ人が犠牲になりました。この

迫害の中で、危険を冒しながらもユダヤ人に手を差し伸べた人々がいました。そのおかげで生き残ることができたユダヤ人もいます。本展示では12か国のヨーロッパの国々におけるユダヤ人救済の物語を紹介します。

- 事前予約 こちらをご確認ください。
- 詳細は、<https://www.earthplaza.jp/event/between-life-and-death/>
(問い合わせ先) あーすぷらざ 045-896-2121



【新情報】◆あーすぷらざ

映画上映会 この世界の片隅に (8/29 10:00~12:10、14:00~16:10)

- あーすぷらざ 5階映像ホール
- WEB予約制 (各回定員60名)
- 入場料 無料
- お問い合わせ 神奈川県立地球市民かながわプラザ 045-896-2121



◆さわやか福祉財団

いきがい・助け合いサミット in 神奈川

共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～ (9月1日~2日)

日時：2021年9月1日から2日

会場：パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

定員：会場参加 1,500名 / オンライン視聴 3,500名

参加費：資料代1人2,000円 (会場参加、オンライン視聴共に変わりはありません) 大交流会は別途3,000円

申込期間：5月17日(月)~7月31日(土) (定員になり次第締切) 詳細については、
<https://www.sawayakazaidan.or.jp/summit/osaka/kanagawa2021/>



◆サントリーホールディングス株式会社

サントリー水育(みずいく)「森と水の学校」リモート校募集 (7/17~)

子どもたちに、水を育む森のはたらきや水を守ることの大切さを伝え、自然を愛する心を育んでもらうプログラム

・主催：サントリーホールディングス株式会社

- ・対象：小学校3～6年生と保護者。各回40名
- ・オンライン・無料
- ・開催日程：7月17日（土）、7月18日（日）、7月31日（土）、8月1日（日）、8月9日（振休）、8月10日（火）、8月13日（金）、8月14日（土）、8月15日（日）、8月28日（土）、8月29日（日）
- ・申込期間：2021年6月8日（火）～
- ・詳細/申込：<https://www.suntory.co.jp/news/article/13927.html>



◆NPO法人 東海道ウォークガイドの会

日本橋から沼津宿まで旧東海道を歩きませんか？（9月25日から）

15km前後の日帰りウォークです。

日程：9月25日（土）、10月23日（土）他

参加費用 12,000円（10回分一括払い）

詳細については、<https://www.hiratsuka-shimin.net/?p=14606>

問合せ先：NPO法人 東海道ウォークガイドの会 090-3130-2494 桂

（署名・賛同・写真・動画募集）



【新情報】市民が撮った五輪地図プロジェクト

「あなたの目撃した五輪」「五輪へのメッセージ」写真・動画を大募集！

<http://ourplanet-tv.org/?q=node/2577>

東京五輪開幕から1週間。引き続き「あなたの目撃した五輪」、「五輪へのメッセージ」を募集しています。写真や動画で投稿してください。市民が目撃した五輪、五輪へのメッセージ動画を地図上に集積し、五輪にまつわる動きや思いを可視化します。

（発行・問合せ先）

OurPlanet-TV <http://www.ourplanet-tv.org>

東京都千代田区神田猿樂町2-2-3NSビル202

Email：info@ourplanet-tv.org

Tel：03-3296-2720 FAX：03-3296-2730



（再掲）【新情報】上関原発を建てさせない祝島島民の会のオンライン署名

「上関原発計画に反対します！原発の新設をわたしたちは望みません。経産省・資源エネルギー庁は、エネルギー基本計画に「原発新增設」を明記せず、脱原発に舵を切ってください。」

発信者：上関原発を建てさせない祝島島民の会 宛先：経済産業省（資源エネルギー庁）

<http://chng.it/MfmzrZfytC>

（連絡先）上関原発を建てさせない祝島島民の会事務局

〒742-1401 山口県熊毛郡上関町祝島 218

FAX：0820-66-2110

（コンクール・顕彰）



（再掲）【新情報】●住友生命保険相互会社

「未来を強くする子育てプロジェクト」子育て支援活動の表彰（締切 9/10）

より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を表彰

◎文部科学大臣賞・厚生労働大臣賞／表彰状 大賞の1組に授与

◎スミセイ未来大賞／表彰盾、副賞 100 万円 2 組程度

◎スミセイ未来賞／表彰盾、副賞 50 万円 10 組程度

※コロナ禍での活動への影響や活動の工夫を考慮

詳細については、

https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/child/bosyu.html

※自薦（ただし要推薦書）



（再掲）【新情報】●公益財団法人パナソニック教育財団

「2021 年度 子どもたちの“こころを育む活動”表彰」9/10 締切

コロナ禍の影響により一時休止している活動やオンラインの活動なども応募可

全国大賞（1 件）：賞状および賞金（50 万円）

優秀賞（5 件程度）：賞状および賞金（20 万円）

詳細については、http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

●自薦（他薦も可）



（再掲）【新情報】●株式会社日本経済新聞社

「第 5 回 日経ソーシャルビジネスコンテスト」（締切 9/5）

テーマ：SDGs を意識したソーシャルビジネス

この未曾有の事態の中で持続可能な社会の実現に向けて、社会課題に果敢にチャレンジするプレーヤー、そしてその志を応援

大賞：賞金 100 万円、優秀賞：賞金 50 万円、特別賞（Covid-19 関連）：賞金 50 万円、学生部門賞：賞金 10 万円、各部門に賞盾も贈呈

⇒ <https://social.nikkei.co.jp/about.html>

※公募中、9/5 締切、自薦



【新情報】主催 フィッシュファミリー財団（米国ボストン）

「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」(CCJA: Champion of Change Japan Award) (締切 8/31)

あなたの身近に、誰かのため、地域のため、未来のために活動している女性はいませんか？
そんな頑張る女性リーダーをこの賞に推薦してください

受賞者は 100 万円の賞金と活動へのサポートを受けとります。

2006 年より日本女性のエンパワメントに取り組んできた、米国ボストン拠点のフィッシュファミリー財団の主催する「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」(CCJA: Champion of Change Japan Award) は、社会をよりよくするために活動する女性リーダーに光をあて、敬意を表する賞です。

特に今年は、コロナ禍で多くの社会課題が浮き彫りになりました。地道に、果敢に、草の根で、社会の課題に取り組む女性たちを、みなさんから寄せられた推薦をもとに選出します。

◆詳細は、HP 参照

・2021 年度「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞」(CCJA2021 実行委員会)

◆締め切り 2021 年 8 月 31 日 3pm(日本時間)

内容について詳しくはホームページからご確認ください。

◆問い合わせ先 CCJA2021 実行委員会

東京都港区虎ノ門 1 丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15F

<https://hakomachi.com/townnews3/2021/07/ccja2021/>



キララ賞基金運営委員会

第 31 回キララ賞(かながわ若者生き生き大賞)(締切 8/31)

地域を生き活きとさせる活動、人と人のつながりを豊かに生み出す活動、未来を切り開いて

いく活動など、オルタナティブな生き方を模索している若者を発見し、応援する活動です。
自薦・他薦で応募を受け付け、選考し、毎年2件の個人または団体に「キララ賞（かながわ若者生き活き大賞）」と「副賞 50万円」を贈呈している活動です。

推薦募集・運営・選考活動は生活クラブ生協神奈川・福祉クラブ生協組合員と有識者が担っています。

詳細は、<https://kanagawa.seikatsuclub.coop/activity/kirara/about.html>



◆（公財）日本フィランソロピー協会

第19回企業フィランソロピー大賞募集（締切9月1日）

社会の課題解決のために、自社の経営資源を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰する「企業フィランソロピー大賞」（2003年創設）を募集

※自薦、他薦を問いません。企業の業態・規模の大小を問いません

●締切 9月1日（水）まで

●詳細は、<https://www.philanthropy.or.jp/award/>



◆プルデンシャル生命保険株式会社他3社

「第25回 ボランティア・スピリット・アワード」（締切8/31）

青少年が積極的にボランティア活動に参加できる社会環境の醸成を目指す国際的プログラム

・主催：プルデンシャル生命保険株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、
PGF生命 [プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社]、
日本教育新聞社

・対象：中学生、高校生

・締切：2021年8月31日（火）

・応募/詳細：<https://www.vspirit.jp/>



◆一般財団法人住宅生産振興財団他

第17回 住まいのまちなみコンクール（締切8/31）

応募要項は

https://machinami.or.jp/pages/contest_guideline17.shtml

魅力的なまちなみの維持管理、運営に取り組む住民組織を表彰し、受賞団体には、維持管理

活動の推進のために年 50 万円を 3 年間支援します。

【問合せ先】

一般財団法人住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局 担当：遠藤・石川
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX TT ビル 5 階
(TEL) 03-5733-6733 (FAX) 03-5733-6736
(e-mail) contest★machinami.or.jp (メールアドレスについては★の部分を@に変更し、ご使用ください。)

(ボランティア)

◆-----
【新情報】 かながわ女のスペース みずら

2021 年度募集案内 電話相談員養成講座(9/11)(締め切り 8 月 31 日)

みずら相談室は、女性のための何でも相談です。女性が抱えるさまざまな悩みを一緒に考え、解決への手助けをしています。資格や経験は一切問いません。あなたも、みずら相談員になってみませんか。

- 日程 2021 年 9 月 11 日 (土) 13:00~16:50
- 会場 かながわ県民活動サポートセンター 711 号室
- お申し込み・お問い合わせは下記までご連絡ください。

相談員までの流れなど、詳しい内容を記したチラシをお送りいたします。

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人 かながわ女のスペースみずら 〒221-0057 神奈川県横浜市神奈川区青木町 2-1-613 TEL 045-451-3776 FAX 045-451-6967

<http://www.mizura.jp/>

◆-----
◆フードバンクかながわ

時間の寄付(食品点検等のボランティア)をお待ちしています

https://fb-kanagawa.com/support_time.html

フードバンクかながわでは、フードドライブによる食品提供で頂いた一つ一つの食品の賞味期限や破袋などのチェックを行うため、多くのボランティアのご協力が必要となり、ボランティアを募集しています。

作業内容 (1)食品の点検 (2)賞味期限のチェック (3)分類と棚入れ

時間 午前あるいは午後の 2 時間程度のボランティアが可能な方を募集します。

場所 フードバンクかながわ事務所兼倉庫 金沢区富岡東 2-4-45 シーサイドライン鳥浜駅 3 分。

(問合せ先) 事前にフードバンクかながわにお電話ください
045-349-5803 (土山・薩本)



◆NPO 法人フードバンクひらつか ボランティア募集
フードバンクひらつかではボランティアを募集しています。



フードバンク運営に携わってみませんか？

■主な仕事内容

- 支援宅への配達(急募)
- 食品の引き取り
- 支援食品の準備
- 在庫管理
- 事務作業 (書類作成が得意な方急募)
- イベントの手伝い

■連絡先

フードバンクひらつか

NPO 法人フードバンクひらつか (foodbank-hiratsuka.com)

TEL 0463-79-5824 (平日火・木・金 11:00~16:00)

Email hiratuka.foodbank@gmail.com



(公財) かわさき市民しきん

2021 年度川崎プロボノ部の説明会(最終回 9月4日)



プロボノワーカーとして参加を希望される方、団体としてサポートを受けることを希望される方、まずは説明会にご参加ください！ (お申し込みは下記のお申し込みフォームよりお願いします)

※プロボノとは、「公共善のために」を意味するラテン語に由来する言葉で、「社会的・公共的な目的のために、仕事で培った経験やスキルを活かすボランティア活動」のことを意味します。

◆ZOOM によるオンライン説明会日時

・9/4 (土) 14:00~15:30 オンライン・会場 (メサグランデ/定員 10 名)

◆対象・プロボノワーカーとして参加を希望される方

・サポートを受けることを希望される団体の方

◆参加を希望される方は、下記お申し込みフォームより、お申し込みをお願いします。オンラインでの参加をお申し込みの方にはお申込みいただいた方に、開催日前までに参加用

URL、ミーティング ID、パスワードをお送りします。

お申し込みフォーム https://bit.ly/kwsk_probono2021

※もし、サポートを希望される団体の方で説明会に参加することが難しい場合は、probono@shimin-shikin.jp まで個別にご連絡ください。

【問合せ先】

公益財団法人 かわさき市民しきん TEL：044-873-4586

Email：info@shimin-shikin.jp HP:<http://shimin-shikin.jp>

Facebook:<https://www.facebook.com/k.shimin.shikin>

(物品寄付・募金・寄贈)

◆
【新情報】 ミャンマー支援募金

【One-To-One Save Myanmar campaign】

<http://www.brcj.org/2021/06/brcj-one-to-one-save-myanmar-campaign.htm>

ミャンマーの問題に一人ひとりができることはないだろうか？当キャンペーンは、日本ビルマ救援センターが仲介し、CDM (Civil Disobedience Movement 市民の不服従運動) の支援だけでなく、支援の枠を広げ多くのミャンマーの市民に支援が届けられるように、医療支援、食糧支援など緊急に必要とされる人びとに、必要なものを届けていくキャンペーンです。

(スタッフ)

◆
【新情報】 フィランソロピー協会

プロジェクト担当職員を募集中です。(締切 8/31)

<https://www.philanthropy.or.jp/recruit/>

◆
【新情報】 日本 NPO センター

職員募集のお知らせ (締め切り 8/31)

<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=22787>

◆
【新情報】 インクルージョンネットかながわ

職員募集のお知らせ (締切り 8/29)

<http://inclkanagawa.net/2021/08/16/%e6%96%b0/>

インクルージョンネットかながわでは、8月から、神奈川県の孤独・孤立女性支援事業を実施することになり、スタッフを1名増員することになりました。

詳細は、<http://inclkanagawa.net/2021/08/16/%e6%96%b0/>

【問合せ先】

一般社団法人インクルージョンネットかながわ 代表理事 川崎あや

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-19 秀和第5ビル3B

TEL：0467-47-9291 FAX：0467-47-9290

e-mail：kawasaki@inclusion-net.jp

2 【助成金】

【組織基盤強化】



★【新情報】公益財団法人 SOMPO 福祉財団

◆「認定NPO法人取得資金助成」(締切 10/8)

認定NPO法人の取得(特例認定含む)のための資金を助成

対象:n2023年3月末までに認定申請予定、もしくは21年4月以降に申請済みの団体

助成上限:30万円、助成件数:15団体程度(総額450万円)

「認定NPO法人」の取得に関する費用であれば、使途自由、人件費や管理費・ファンドレイジング経費・専門家謝金等も可

⇒ <https://www.sompo-wf.org/jyosei/nintei-npo.html>

※受付期間 9/1~10/8

(コミュニティ)



【新情報】 かながわボランティア活動推進基金 21 (9月から10月)

【令和4年度実施分】

ボランティア活動補助金:令和3年9月22日(水)~10月22日(金)

ボランティア団体成長支援事業:令和3年7月29日(木)~9月17日(金)

【令和3年度分】 ボランティア活動奨励賞:令和3年7月29日(木)~9月17日(金)

詳細については、令和3年度版募集案内

<http://www.pref.kanagawa.jp/documents/26791/bosyuannai.pdf>

(問い合わせ先)

神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター 基金事業課

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター 8階

電話 045-312-1121 (内線 2831・2832) FAX 045-312-4810

ホームページ：基金 21 で検索 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/cnt/f5258/>

<応募書類は、上記ホームページから入手できます。>

◆-----
【新情報】 ●公益財団法人日本財団

「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」10/15 締切、

建築デザインを重要な要素として位置づけ、福祉施設のさらなるアップデートとこれからの地域社会づくりをサポートするための新しい助成プログラム

助成上限：3億円、補助率100%、10件程度

詳細については、<https://fukushi-kenchiku.jp/>

◆-----
(再掲) 神奈川県共同募金会

令和3年度 赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン (締切 9/30)

■配分対象団体

こども食堂、学習支援、フードパントリー等、地域において子どもや家族、生活に困窮する方々等に対する支援活動を実施している民間非営利団体で、法人格の有無は問いません。

■配分額 1団体 20万円以内 (万円単位で申請)

詳しくは、<http://www.akaihane-kanagawa.or.jp/whatsnew/229.html>

◆-----
【新情報】

2021年「スマセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」(締切 9/22)

https://skzaidan.or.jp/sports_grant/

【助成対象プロジェクト】

- 一般：地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながるコミュニティスポーツ
- 特定：心身の障がいや長期療養などにより社会参加が困難な状況にある人と共に楽しむ

【応募受付期間】

2021年8月23日(月)～9月22日(水) 必着

※応募要項・応募企画書(応募用紙)・応募企画書作成の手引きは、
下記ウェブサイトから入手ください。

https://skzaidan.or.jp/sports_grant/

【問い合わせ先】

公益財団法人住友生命健康財団 事務局(担当:中島・太田)

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町4-41 住友生命四谷ビル6階

TEL:03-5925-8660 FAX:03-3352-2021 E-mail:sports@am.sumitomolife.co.jp

◆-----
【新情報】2022年度ヤマト福祉財団助成金募集

応募期間 2021年10月1日から2021年11月30日まで

ヤマト福祉財団は、障がいのある方々が「自立して生活することで幸せを感じる」を大切に考えて活動しています。そこでヤマト福祉財団は、福祉施設・団体の方々へのお手伝いとして、障がいのある方々の給料を増額するための新規事業の立上げや生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金と、障がいのある方々の福祉を増進するための事業や活動の資金を助成します。

募集要項等は、2022年度ヤマト福祉財団助成金募集要項(PDF 0.9MB)

(問い合わせ先)公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局

郵便番号 104-8125 住所 東京都中央区銀座2-16-10

TEL.03-3248-0691 FAX.03-3542-5165

◆-----
(再掲)公益財団法人JKA

「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」(受付期間(第1回)6/10～7/16、
(第2回)8/10～8/31)

・新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のための物資の整備事業

例)PCR検査キット、サーモカメラ、空気清浄機、パルスオキシメータなど

・新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、屋外で使用する3密回避などを進めるうえで必要な整備事業

例)テント、温冷風機、発電機など

補助率:100万円まで10/10、100万円超部分は1/2

⇒ <https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/covid19.html>



(再掲) 公益財団法人さわやか福祉財団

「地域助け合い基金」ご寄付のお願いと助成のご案内(随時受付・審査)

◎コロナ禍対応助成(当分の間、優先配分) / ◎共生社会推進助成

(子ども・若者・女性)

◆
【新情報】(公財)ベネッセ子ども基金

2022年度「重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成」(締切9/24)

日本全国の地域において、重い病気により学びに課題を抱える子どもたちを、その支援活動に取り組む団体への助成を通して、支援します。

●申請書提出期限:2021年9月24日(金)必着

●募集要項・申請書等の詳細は <https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

◆
【新情報】東急株式会社

「2022年度東急子ども応援プログラム」(締切9/15)

子どもは一人ひとり多様な可能性を持っています。しかし、慌ただしい生活時間や限られた人間関係の中で、可能性の芽がのびのびと育ちにくい環境があり、さらには、いじめ、引きこもり、家庭内暴力、経済的に困窮する家庭状況や、不安や困りごとなどを抱えている子どもたちもいます。地域には、そうした子どもたちをサポートする、家庭や学校以外での大人たちの活動があり、子どもたちや家族が安全・安心で心豊かに暮らせる生活環境づくりをサポートしています。

このプログラムでは、子どもたち一人ひとりが望む「幸せ」につながることを願って、皆さまの活動を支援します。

●活動対象エリア 東急線沿線の17市区

●応募受付期間:2021年9月1日(水)~9月15日(水)必着

●詳細は、チラシ(PDF)

■問い合わせ先 東急株式会社 社長室 サステナビリティ推進グループ 社会活動推進担当 東急子ども応援プログラム事務局 Email : kodomo@tkk.tokyu.co.jp

◆
◆【新情報】東京海上日動あんしん生命 給付型奨学金制度 (締切10/29)

本奨学金は、疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により進学が困難な方に、奨学金の給付を行うことで大学等への進学を後押しすることを目的としています。

・締切：2021年10月29日（金）当日消印有効

・詳細：<https://www.philanthropy.or.jp/anshin/>

【申込・問合せ先】

公益社団法人日本フィランソロピー協会

「東京海上日動あんしん生命 奨学金制度」事務局 宛

TEL： 03-5205-7580（平日 9:30～18:00 年末年始を除く）

e-mail：<https://business.form-mailer.jp/fms/f9e630f710343>

H P：<https://www.philanthropy.or.jp/>

（環 境）



【新情報】 TOYOTIRE グループ

TOYOTIRE グループ環境保護基金（締切 9/30）

環境保護、環境保全関連の事業活動等に助成。グループ従業員有志からのマッチングギフト方式を採用。

詳細については、<https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/>



【新情報】（公財）国際花と緑の博覧会記念協会

令和4年度「花博自然環境助成」事業の公募（締切 9/10）

国際花と緑の博覧会の「自然と人間との共生」という理念の継承発展または普及啓発に資する事業であって、生命の象徴としての「花と緑」に関連する広汎な分野において、科学技術または文化の発展または交流に寄与するものを対象としています。

詳細については、https://www.expo-cosmos.or.jp/main/zyosei/invitation_04.html

（問い合わせ先）

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部企画事業課

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園 2-136

TEL：06-6915-4516 FAX：06-6915-4524

E-mail：clover@expo-cosmos.or.jp

@を半角に変換してメールをお送りください。



（一社）公園財団

公園・夢プラン大賞(締切 9/30)

「公園・夢プラン大賞」は、全国の公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・表彰するので、公園を楽しく使いこなす人々をさらに増やしてゆくことを目指す。

応募問い合わせ HP <https://yumeplan.prjf.or.jp>

【掲載誌】(募集・公募などについては該当のところで既報)

今月も様々な情報を寄せていただきました。ありがとうございます。

(団体名、機関誌名、巻号数、発行月、HP の順)

(あ行)

●(公財)明るい選挙推進協会

Voters No,62

2021 年 6 月

特集 政治・選挙の世論調査

<http://www.akaruisenkyo.or.jp/061mag/>

●(公財)あしたの日本を創る協会

まち・むら 154

2021 年 6 月発行

<http://www.ashita.or.jp/>

●認定 NPO 法人 OurPlanet-TV

OurPlanet-TV メルマガ 2021. 7.9、7.16、7.23、7.30

<http://www.ourplanet-tv.org>

●株式会社イータウン

イータウンメールニュース 2021/7/28

<http://www.e-etown.com/>

●大竹財団

地球号の危機 ニュースレター 494

2021 年 8 月

第 46 回祝島沖・上関原発計画の 2021 年夏

～島民の会のオンライン署名～

地球号の危機 ニュースレター 493

2021 年 7 月

第 45 回祝島沖 海域ボーリング調査、
3 回目の申請と許可～39 年の物理的・精神的苦痛～他

<https://ohdake-foundation.org/category/newsletter/>

●大阪 ボランティア協会

ウオロ(Volo)No.537

2021 年 6 月・7 月

特集 何を撮り、どう届けるか動画は市民の道具だ他

<http://osakavol.org/volo/vjihyo/index.html>

●(公財)淡海文化振興財団

おうみネット Vol.115

2021 年 Summer

特集 「寄付を、考えてみる」他

<https://ohmi-net.com/>

●メールマガジン『オルタ広場』編集部

メールマガジン『オルタ広場』39号(通算211号)

<http://c1c.jp/4265/nX6sQL/9641>

(か行)

●(一社)霞ヶ浦市民協会

霞ヶ浦 NEWS No.210 Apr～May 2021

<http://www.kasumigaura.com/>

●神奈川県社会福祉協議会

福祉タイムズ vol.836

21 年 7 月

特集 住民参加と様々な主体の協働による誰もが尊重され安心して生活できる地域づくり
の推進～県社協活動推進計画並びに令和2年度事業報告・決算～

<http://www.knsyk.jp>

●神奈川ネットワーク運動

ローカルパーテイ情報誌 神奈川ネット

vol.430

2021 年 7 月

特集 外国につながる子どもの学ぶ権利を保障する

<https://kanagawanet.org/>

●神奈川労災職業病センター

かながわ労災職業病7 2021 July

2021 年 7 月

<https://koshc.org>

● かながわ・女のスペース“みずら”

みずら通信 No.371

2021年5月1日

<http://www.mizura.jp>

みずら通信 No.373

2021年7月1日

<http://www.mizura.jp>

● 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会

うえい

vol.276

2021年7月

<http://www.wco-kanagawa.gr.jp>

● 公益財団法人 かわさき市民活動センター

ナンバーゼロ 297号

2021年 盛夏号

特集 どんなアップデートしてますか？

若い力と世代交代で更新に取り組む

<http://www1.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp>

● 公益財団法人 かわさき市民しきん

メールマガジン 49号 2021年8月19日

<http://shimin-shikin.jp>

● 原発井戸端会議・神奈川

I*do 400号

2021年7月15日

上関原発計画の一刻も早い白紙撤回を求める

Email: Xc8h-nkd@asahi-net.or.jp

● (一社) 環境情報科学センター

環境情報科学 50-2 2021

2021年7月

特集：東日本大震災・福島原発事故から10年—縮小社会における大規模災害からの社会再

生と環境再生を考える 他

<http://www.ceis.or.jp/>

● (一社) きりゅう市民活動推進ネットワーク

ゆい通信 110号

2021年7月

Kiryu-yui@kiryunet.org

●子育てまち育て塾

子育てまち育て伝言板 VOL117

2021年8月

幼稚園、保育園、どんな風に選んでる？

<https://www.facebook.com/kosodatemachisodate>

●狛江市政策室

わっこ 215号

2021年7月

Email: wacco@city.komae.lg.jp

(さ行)

●(特非)女性の家サーラ

サーラ通信 175号

2021年7月

admin@saaiaa.org

●さわやか福祉財団

さあ、言おう vol.334

2021年7月

<https://www.sawayakazaidan.or.jp>

●参加型システム研究所

参加システム 135

2021年7月

紙上討論<フードバンクの多様性と今後の展開>

<http://www.systemken.org/index.html>

●参加型福祉研究センター

「オプティマム」vol.37

2021年7月15日

参加型福祉まちづくりフォーラム報告

<http://www.sanka-fukushi.org>

●自治研中央推進委員会

月刊自治研 8 vol.63 no.743

2021年8月

特集 パンデミックと貧困

月刊自治研 6 vol.63 no.742

2021年7月

特集 自治体デジタル化の現在地

<http://www.jichiro.gr.jp/jichiken/month/index.html>

● (特非) ジェン

Newsletter 2021 Vol.83 夏

2021年7月

アフガニスタン 水・衛生環境改善支援他

Email: admin@saalaa.org

● (公財) 助成財団センター

JFC e-mail newsletter NO.13、14

2021年7月16日 8月17日

http://www.jfc.or.jp/jfc_views/backnumber/

● シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

メールマガジン No.371

2021年7月

新型コロナ対応 政府支援策アップデート

<http://www.npoweb.jp>

● 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会

生活と自治 2021 8 No.628

2020年8月

特集 岐路に立つ食と農。どんな農業、社会を目指すのか？

<https://seikatsuclub.coop/seikatsutojichi/>

● 仙台市市民活動サポートセンター

ぱれっと 8 No.264号

<https://sapo-sen.jp/use/support/palette/>

● 認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ

むすびえ通信 7.26

<https://musubie.org/>

● ソーシャル・ジャスティス基金

SJF メールマガ第117号

(2021年7月21日配信)。

SJF メールマガ第118号

(2021年8月18日配信)

<http://www.socialjustice.jp/>

(た行)

● (認定NPO法人) フリースペースたまりば

・夢パークつうしん 105号

2021年8・9月

・夢パークつうしん 104号

2021年7・8月

<http://www.yumepark.net>

・かわらばん 8月

・たまりば通信 2021年夏

<http://www.tamariba.org>

●たまりば通信 web版

vol.2 2021年6月号

vol.3 2021年7月号

●千葉市民活動支援センター

ちばさぼ通信 Vol.44

2021年7月

今こそ活かせ「つながる力」 他

<https://chiba-npo.net/>

●NPO法人 聴導犬育成会

HEARING DOG 通信 68号

2021年5月

連絡先 Hearingdog@jcom.zaq.ne.jp

0467-32-4042

●東京ボランティア・市民活動センター

ネットワーク No.372 2021年

2021年6月

特集 若者に寄り添う市民活動～若年の妊娠

<https://www.tvac.or.jp/nw/>

●とよた市民活動センター

つなぐ 133号

2021年7月

<http://www.toyota-shiminkatsudo.net/>

(な行)

●(公財)国際障害者年記念ナイスハート基金

ないすはあと vol.112 2021年6月号

<https://www.niceheart.or.jp>

●日本NPOセンター

日本NPOセンターのメールマガジン vol.042 2021/7/29

http://www.jnpoc.ne.jp/?page_id=603

●日本フィランソロピー協会 メールマガジン

2021-7-15

<https://www.philanthropy.or.jp/>

(は行)

●非核市民宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団

たより 321

2021年7月

土地利用規制法成立の10日後、横須賀基地に隣接する三笠教会で行われた学習会他

市民宣言 HP <http://itsuharu-world.la.coocan.jp>

平和船団 HP <http://heiwasendan.la.coocan.jp>

●ひらつか市民活動センター

ひらつかの風 No.21

2021年7月

団体レポート『里山をよみがえらせる会』他

<https://www.hiratsuka-shimin.net>

ひらつか市民活動センター メールマガジン

2021年7月10日,8月11日

<https://www.hiratsuka-shimin.net>

●広島市まちづくり市民交流プラザ

らしっく Vol.60 朝凧号

2021年7月

食でつながる社会の絆 他

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●藤沢市民活動推進機構

F・wave 2021 8

21年8月

特集 多様な主体が繋がるマルシェ きっかけはSDGs 他

F・wave 2021 7

21年7月

特集 新しい空き家の利活用 地域とつながる“母子シェアハウス”他

<http://f-npon.jp>

●フォーラム 90 実行委員会

FORUM90 VOL.177

「死刑廃止国際条約発効」30周年企画

死刑廃止のために国際社会の連携を求めて～加速する、国際ルールとしての死刑廃止～他

<http://forum90.net/>

●北海道立市民活動促進センター

しみセン vol.82

2021年7月

特集：特定非営利活動法人の設立認証等に係る事務処理に関するアンケート調査

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>

●（認定NPO法人）JUON NET WORK

JUON NET WORK VOL119

2021年8月

特集 プラスチック問題

<http://www.juon.or.jp/>

●府中市民活動センタープラッツ

Koko Iko 第17号 2021. 7.1

<http://www.fuchu-platz.jp/>

(ま行)

●かながわ女のスペースみずら

みずら通信 NO.374'

2021年8月

2020年度相談事業のまとめ

<http://www.mizura.jp/>

(や行)

●大和市民活動センター 拠点やまと

あの手この手 168号

2021年7月10日

第95回連続共育セミナー

私たちの「子ども食堂」こんな活動しています！！開催報告

<https://kyodounokyoten.com>

https://kyodounokyoten.com/anote_pdf/anotekonote_168.pdf

●よこはまかわを考える会

よこはまかわを考える会ニュース vol.473

2021 年 7 月 8 日

第 431 回定例研究会 杉山孝貴さん『地域とアート・私のこれまでとこれから』
の報告

<https://ja-jp.facebook.com/yokohamakawanokai/>

●横浜市市民協働推進センター

NPO 法人・市民活動応援ガイド

協働のはじめ方 スタートアップガイド

<https://kyodo-c.city.yokohama.lg.jp/>

●横浜市市民協働推進センター

メールマガジン”Civic Times” vol.30

2021 年 8 月 11 日

<https://kyodo-c.city.yokohama.lg.jp/>

●ヨコハマアートサイト事務局

ヨコハマアートサイト vol.027

特集 文化と共にある場

<https://www.tvac.or.jp/dantai/118100>

(ら行)

●立憲民主党

立憲民主 号外 2021.7.1

立憲民主 vol.10 2021.7.16

2021 年 7 月

03-6811-2301

(わ行)

●和歌山県 NPO サポートセンター

waka aiai vol.109 2021 July

2021 年 7 月

<https://www.wakayama-npo.jp>

【寄贈冊子】

●(公財)トヨタ財団

2020 年度年次報告書

<https://www.toyotafound.or.jp/>

●(公財)ベネッセ子ども基金

アニュアルレポート 2020

<https://benesse-kodomokikin.or.jp/>

●(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構

社会貢献活動年間報告書

<http://posc.or.jp/>

※アリスセンターに情報（情報紙や案内チラシ、メール等）を寄せてくれた団体でメールアドレスがわかる団体は、らびっとにゆうずの配信登録をさせていただいております。

※らびっとにゆうずが不要な場合は、アリスセンターoffice@alice-center.jp までお知らせください。

※らびっとにゆうずのバックナンバーは、アリスセンターのHPからご覧いただけます。

<http://www.alice-center.jp/>

※郵送でいただいた情報もらびっとにゆうずに掲載させていただきますが、らびっとにゆうず掲載希望の情報はできるだけメールで送っていただければ助かります。

らびっとにゆうず掲載希望情報送り先

office@alice-center.jp

よろしく申し上げます

●

○アリスセンターとは

「ボランティア活動や市民活動が広がる市民社会を作りたい！」

アリスセンターはそんな願いを持ち続けながら 30 年以上、活動続けてきました。

アリスセンターは、市民と地域社会の自立を目指し、市民がまちづくりの主体となるための実践や政策提言を支援しています。市民活動の情報、NPO の政策提言づくり、NPO や企業、行政の協働などに取り組んでいます。

<http://alice-center.jp/wp/>

●

○入会のご案内ー正会員・準会員・賛助会員を募集していますー

アリスセンターは、個人や団体の会員に支えられて運営されています。

是非会員となって頂き、市民活動の支援をお願い致します。

すべての会員の方にアリスセンターのメルマガの配信、定期刊行物を送付いたします。

○正会員 入会金 2,000 円 会費 1 口 10,000 円以上(1 口以上)

総会での議決権・メルマガの配信・セミナーや発行物等の割引等

○準会員 入会金 1,000 円 会費 5,000 円

アリスセンターの運営に参加する個人または団体。

アリスセンターのメルマガの配信、定期刊行物の送付

○賛助会員 入会金 2,000 円 会費 1 口 30,000 円以上(1 口以上)

アリスセンターの運営を賛助する個人または団体
アリスセンターのメルマガの配信、定期刊行物の送付
入会ご希望の方は、アリスセンター事務局（office@alice-center.jp）へご連絡ください。
後日、事務局からご連絡させていただきます。

◆◆発行◆◆

特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）

〒231-0001

横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL：045-212-5835（留守番電話です）

E-mail：office@alice-center.jp

発行人：内海宏

制作・編集・配信 鈴木健一 菅原敏夫 川崎あや